



73 4A

73 平瓦4類A。綴じ目がはずれた布綴じ4b。



74 4A

74 布綴じ4c。狭端側で折り山の幅狭い。



75 4A

75 布綴じ4d。



76 4A

76 布綴じ4e。折り山の幅最も狭い。



77 4A

77 布綴じ4f。折り山の幅が広い。



78 4A

78 布綴じ4g。4fとは綴じ目の傾斜逆転。



79 4A



80 4A

79 布綴じ4h。綴じ目と縫い目がほぼ平行。

80 布綴じ4j1。ph.149-66と同一だがほどけなし。



81 4A



82 4A

81 布綴じ4k。布綴じ4dに似るが縫い方違う。

82 布綴じ4m。縫い目は広端に届かず。



83 4A



84 4A

83 布綴じ4n。4dに似るが、折り山なし。

84 布綴じ4p。綴じ目、縫い目ともぐし縫い。



85 4A

85 布綴じ4r。4cに似るが布の重ねが逆。



86 4A

86 平瓦4類A。側板の隙間に三角の突起の例。



87 4A

87 凹凸面に平行刻線叩き板で補足の叩き。



88 4A

88 2本の紐を掛けた分割凸帯。



89 4A

89 凸面に藁座圧痕の残る例。



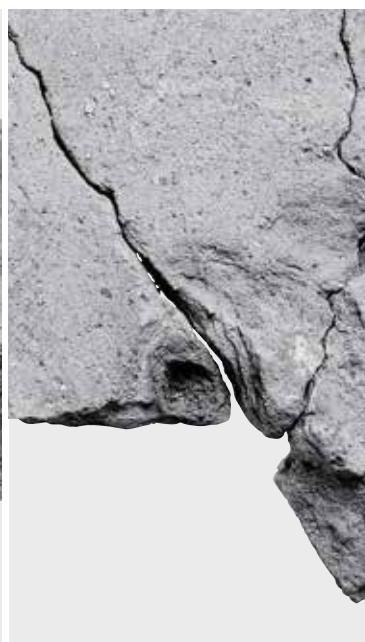
1 広端面藁座圧痕。X型に二重に縛る。



2 広端面藁座圧痕。一重に縛る。



3 粘土板合わせ目に布压痕の例。



4 平瓦4類A。焼けた梅の種。季節は夏?。



86 4A

86 菁足の短い風蝕痕（4類A）。

1 : 6 (1~4を除く)

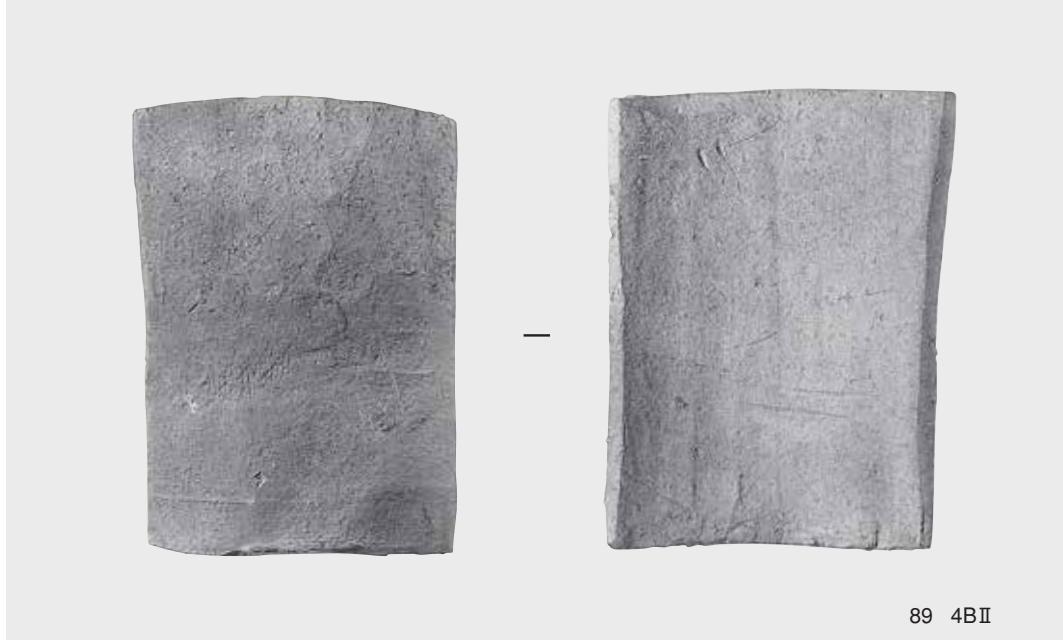


87 上下を逆転して2度使用した平瓦4類A。



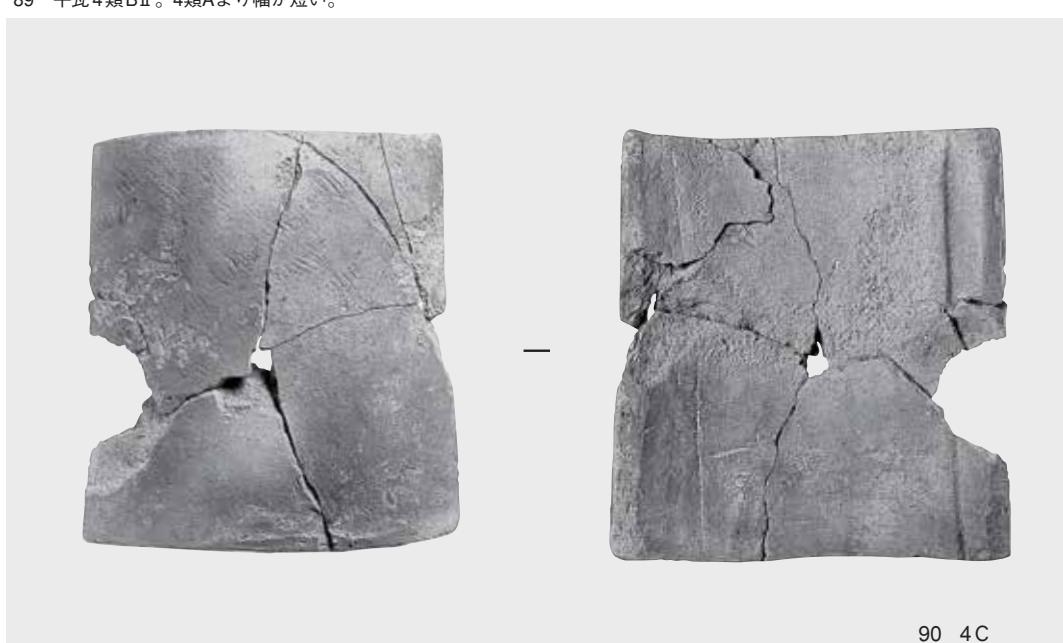
88 平瓦4類BI。4類Aより全長が長い。

88 4B I



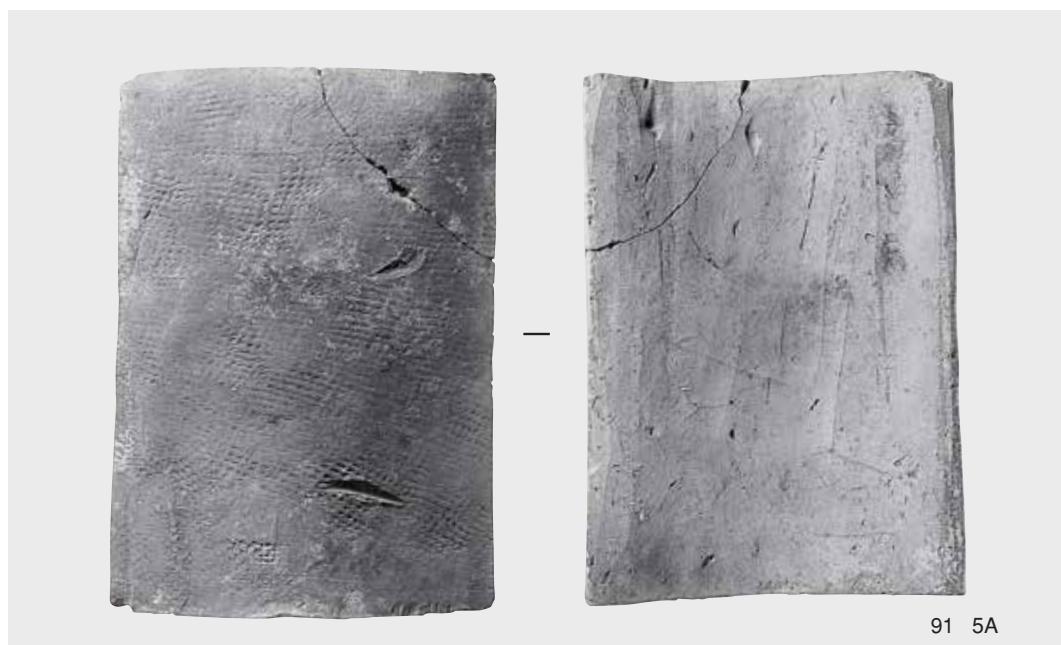
89 平瓦4類BII。4類Aより幅が短い。

89 4B II

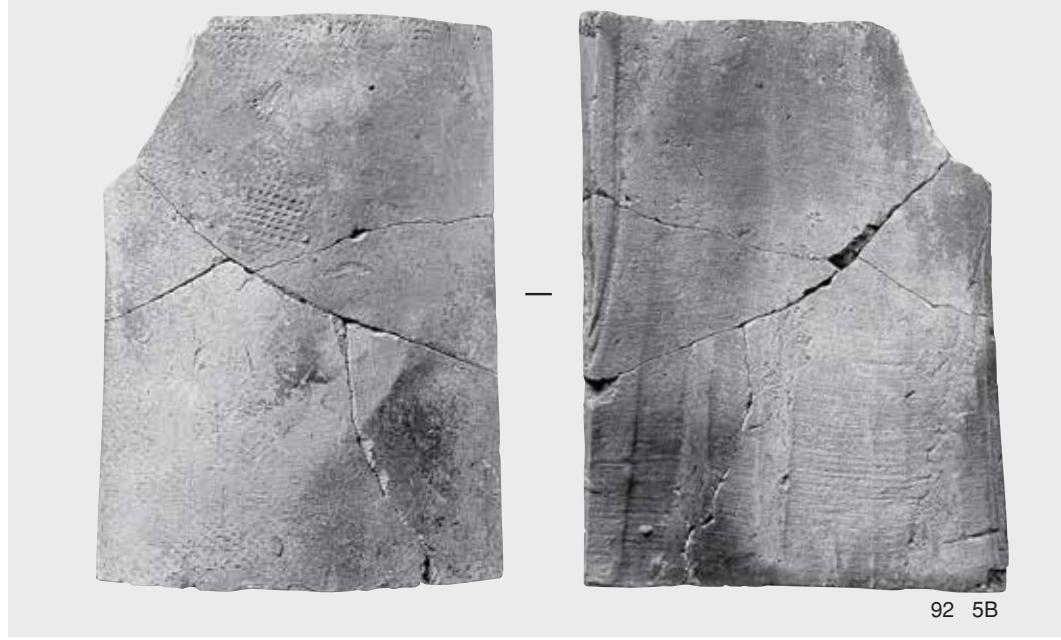


90 平瓦4類C。ほぼ正方形の平瓦。

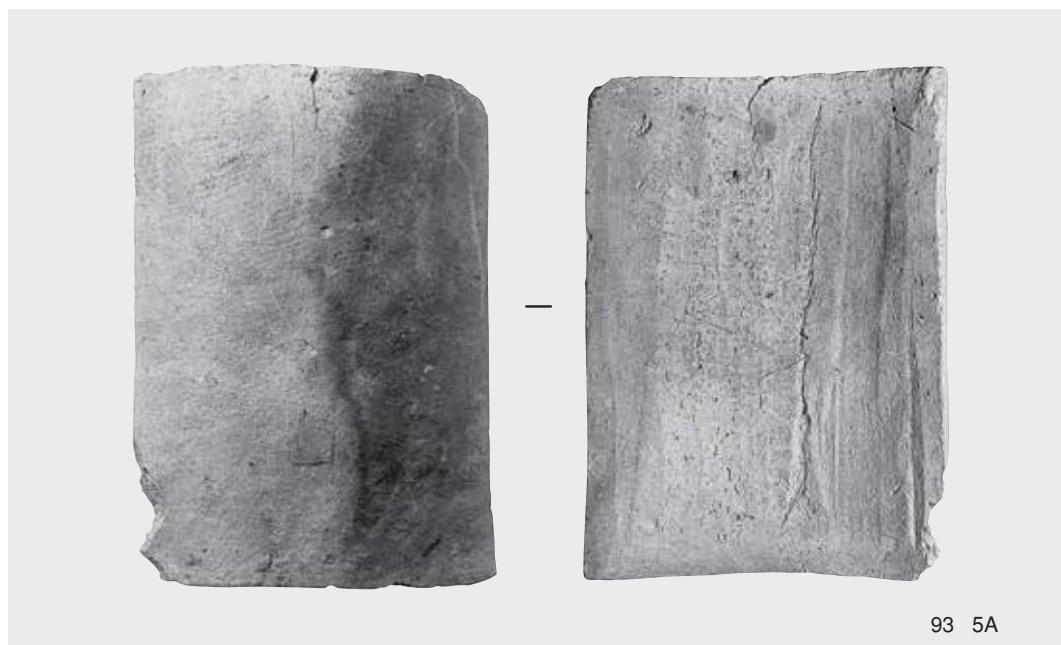
90 4C



91 平瓦5類A。凸面は叩き目を軽くナデ消す。凹面は全面タテにヘラケズリ。



92 平瓦5類B。凸面は叩き目を軽くナデ消す。凹面調整しない。左上に縫い目、右下に布綴じあり（布綴じ5b）。

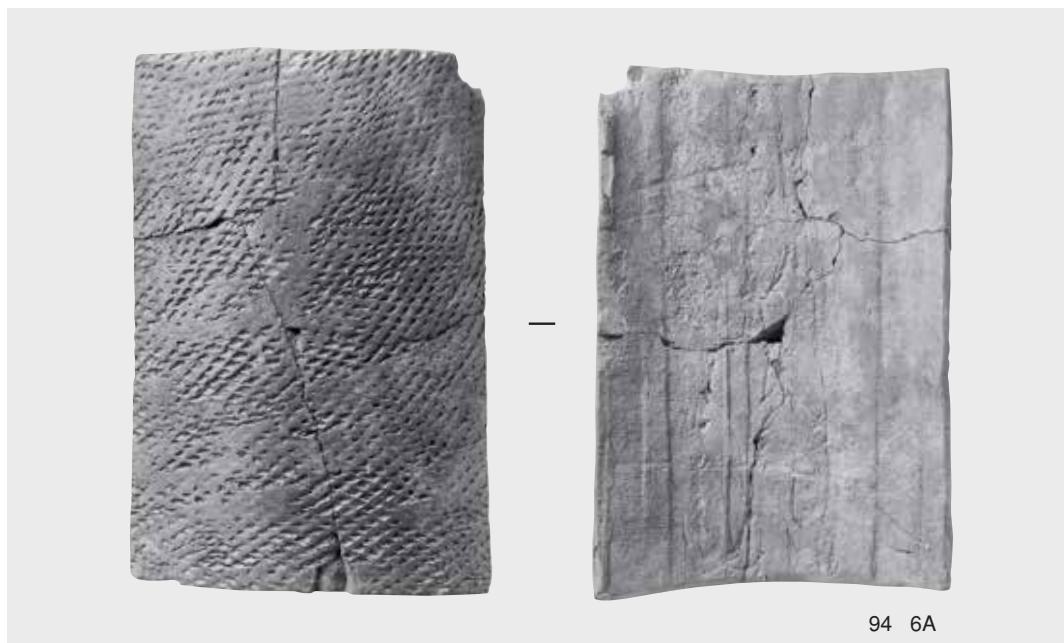


93 平瓦5類A。凸面中央に凹型台の方形痕跡。凹面に布綴じ5a。

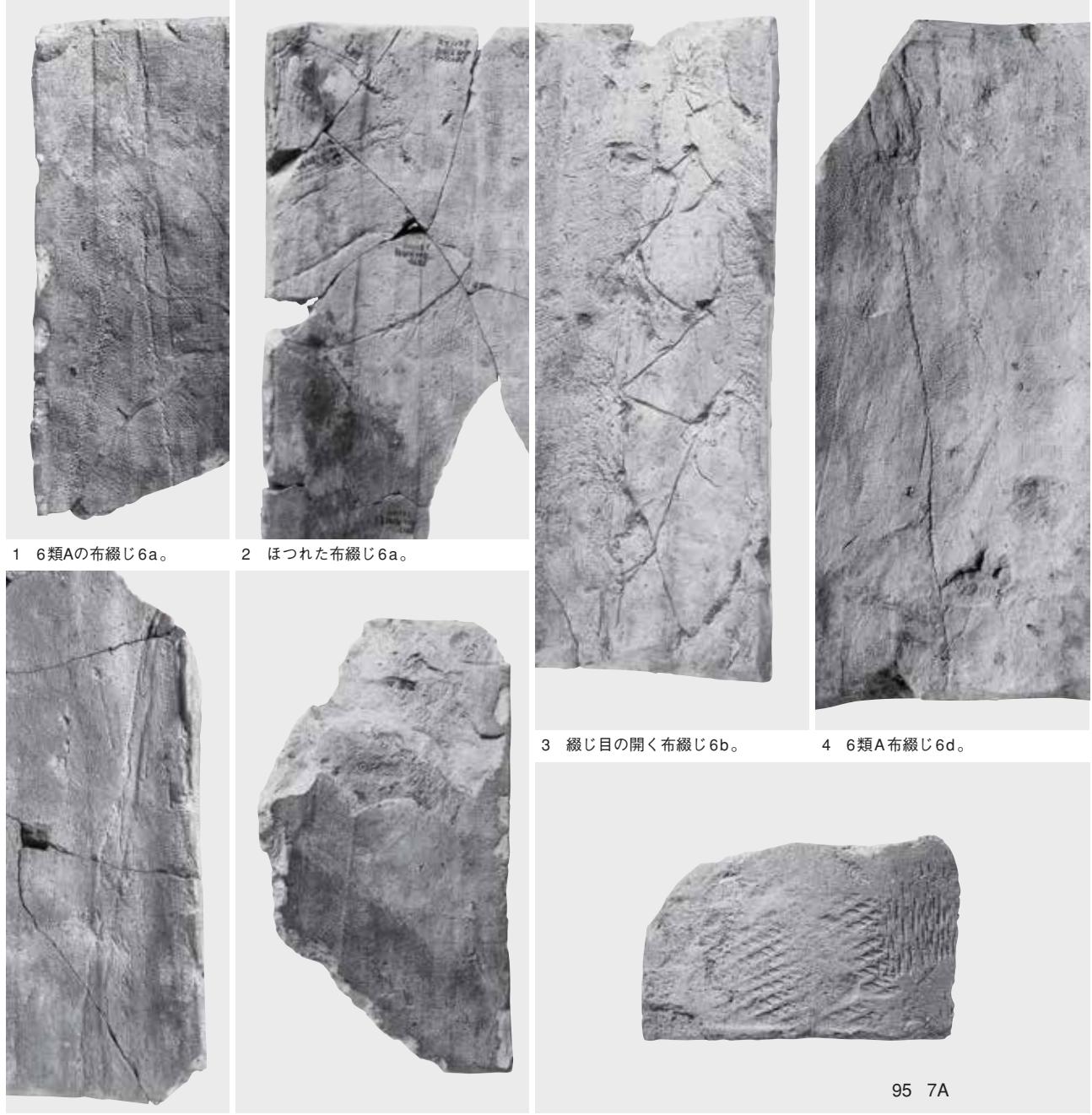
1 : 6 (1を除く)



1 5類Aの分割凸帯。



94 平瓦6類A。凸面に粗い斜格子叩き目。凹面は調整せず。凹面中央に布綴じ6a。

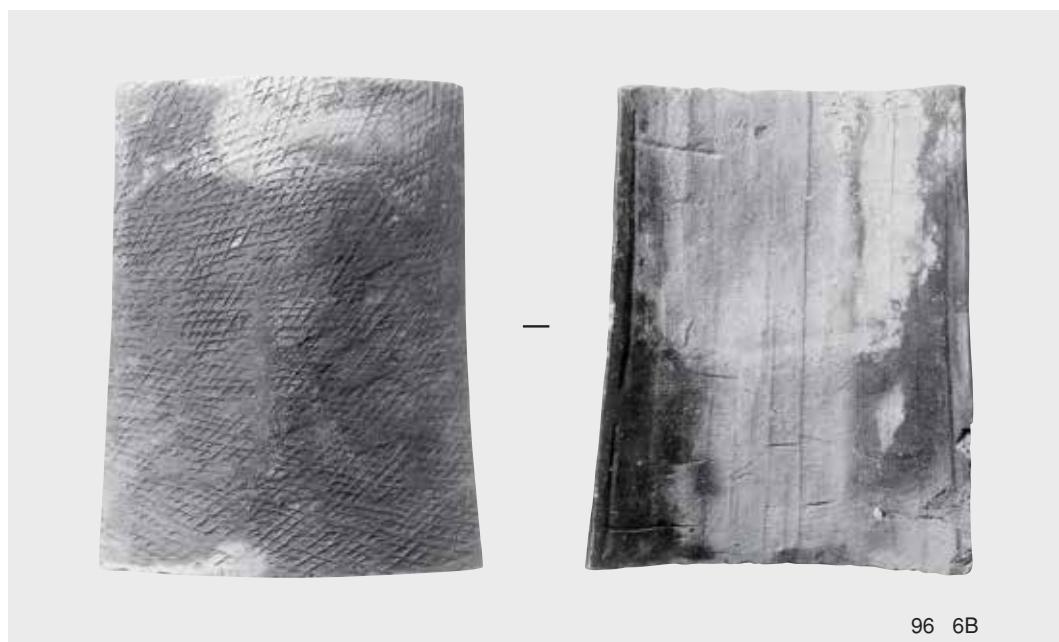


5 6類A布綴じ6c。

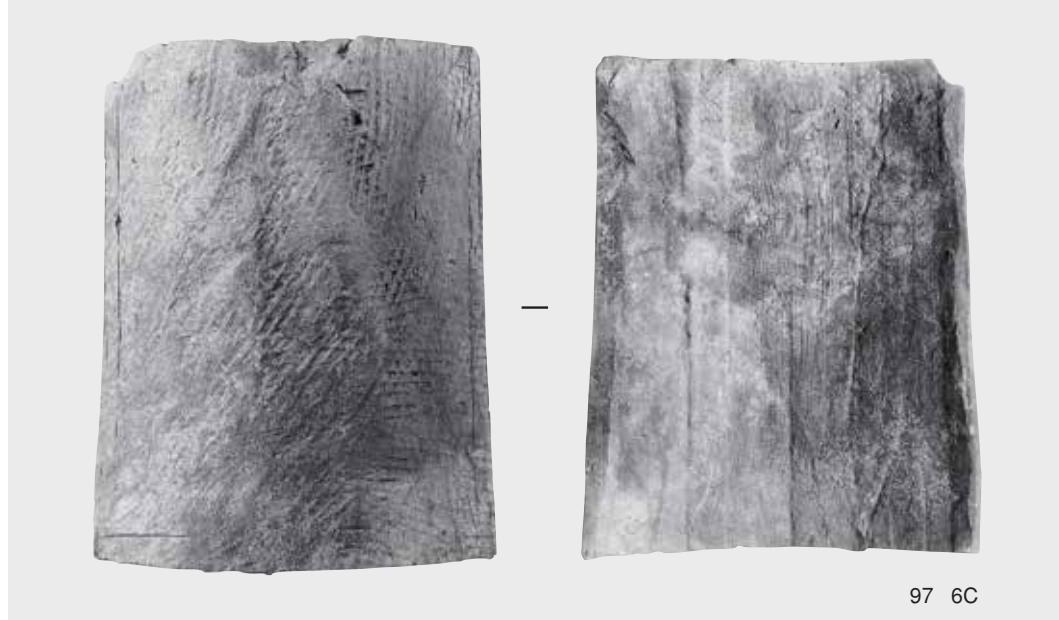
6 隅平瓦に加工された例。

95 平瓦7類Aの縄叩き目との共存。

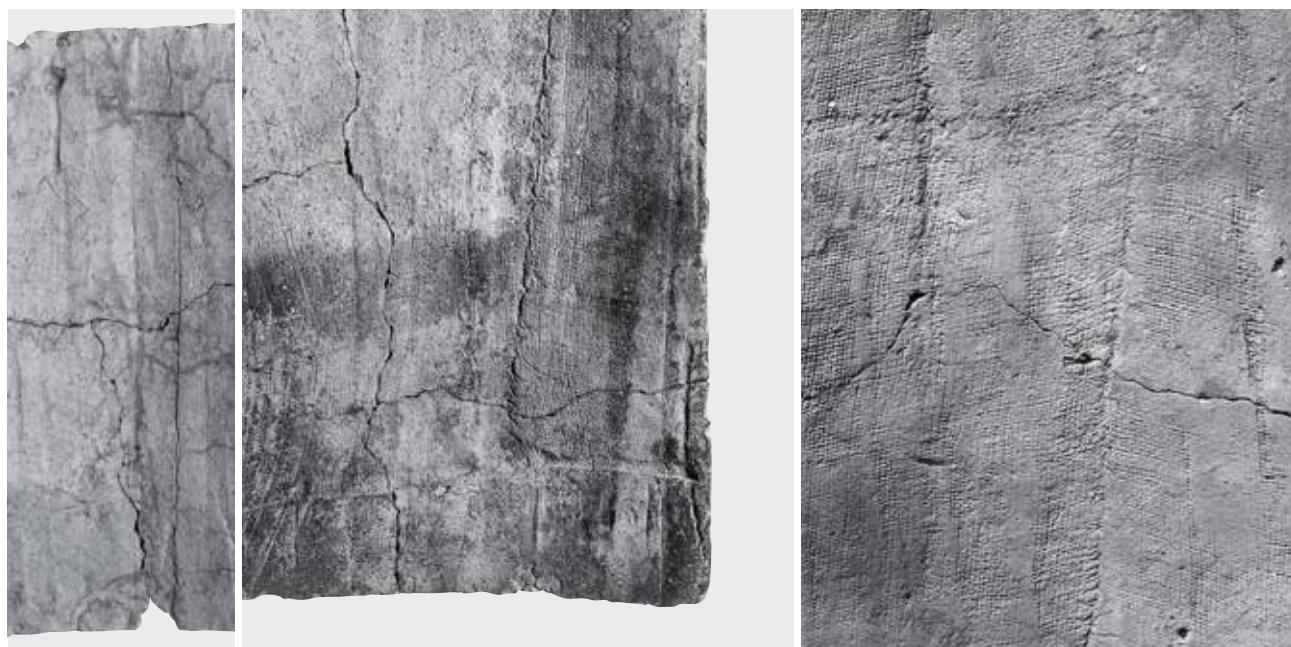
1 : 6 (1~6を除く)



96 平瓦6類B。凸面に明瞭な斜格子叩き目。凹面も調整しない。



97 平瓦6類C。凸面に粗い斜格子叩き目。側辺近くに凹型台の痕跡あり。凹面は調整しない。



1 布綴じ6e。

2 平瓦6類B。布綴じ6fと分割凸帯。

1 : 6 (1~3を除く)

3 平瓦6類Cの布綴じ6g。



98 6C

98 平瓦6類C。凸面の斜格子叩き目は縦方向に長い。凹面右側に布綴じ6gあり。



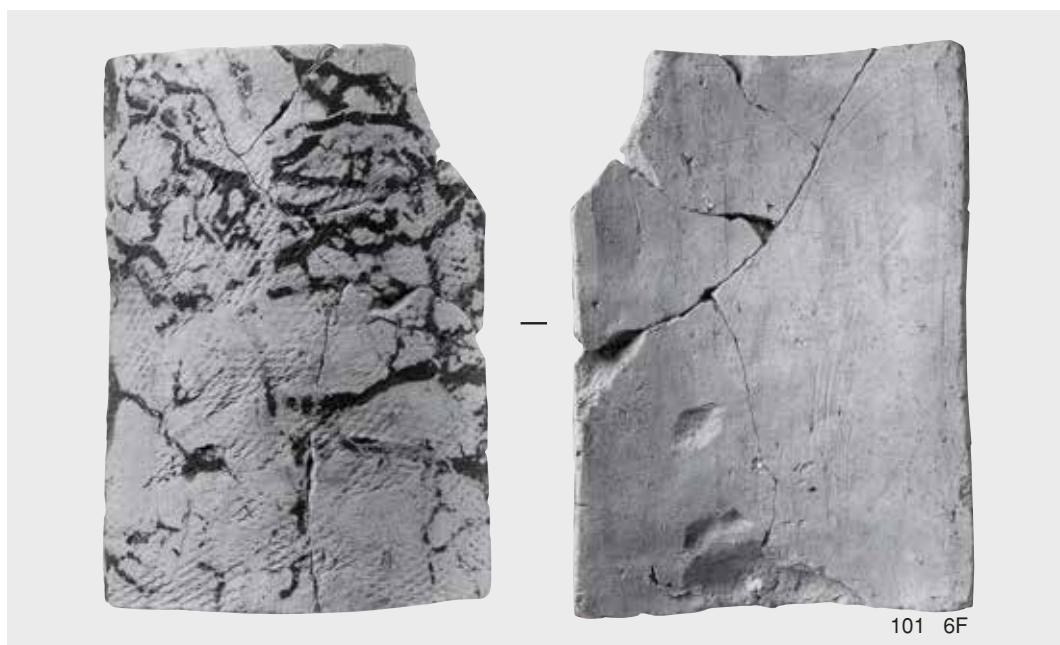
99 6D

99 平瓦6類D。やや小ぶりの平瓦。凸面の叩き目2種。凹面調整せず。内叩きの痕跡あり。



100 6E

100 平瓦6類E。凹面全面を調整する。



101 平瓦6類F。凹面のほぼ全面をタテナデ調整する。



102 平瓦6類G。6類F同様全長が長い。凹面は調整しない。凹面右側に布綴じ6jあり。

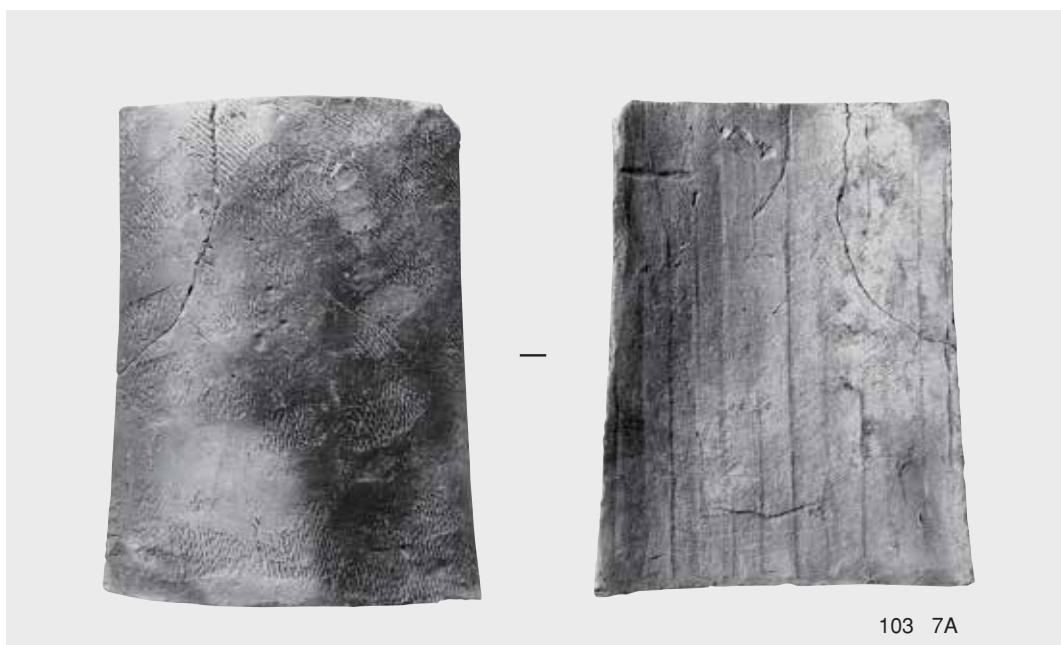


1 平瓦6類Cの叩き板の痕跡。

1 : 6 (1~3を除く)

2 平瓦6類G布綴じ6jの細部。

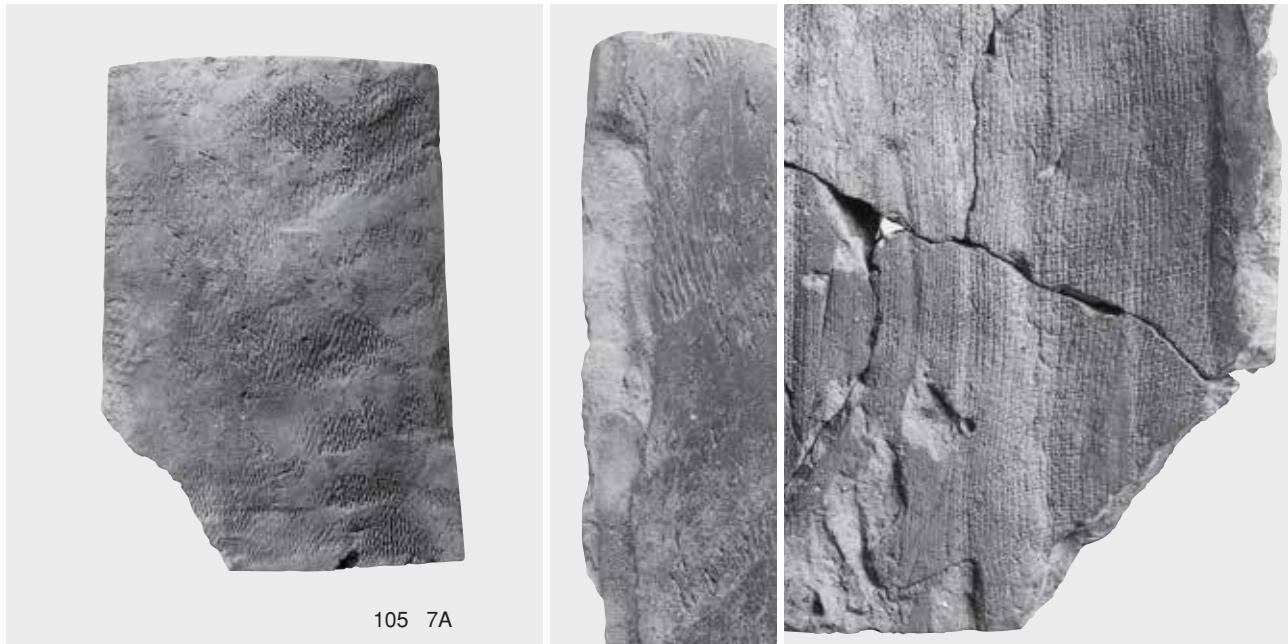
3 6類F広端面の藁座圧痕。



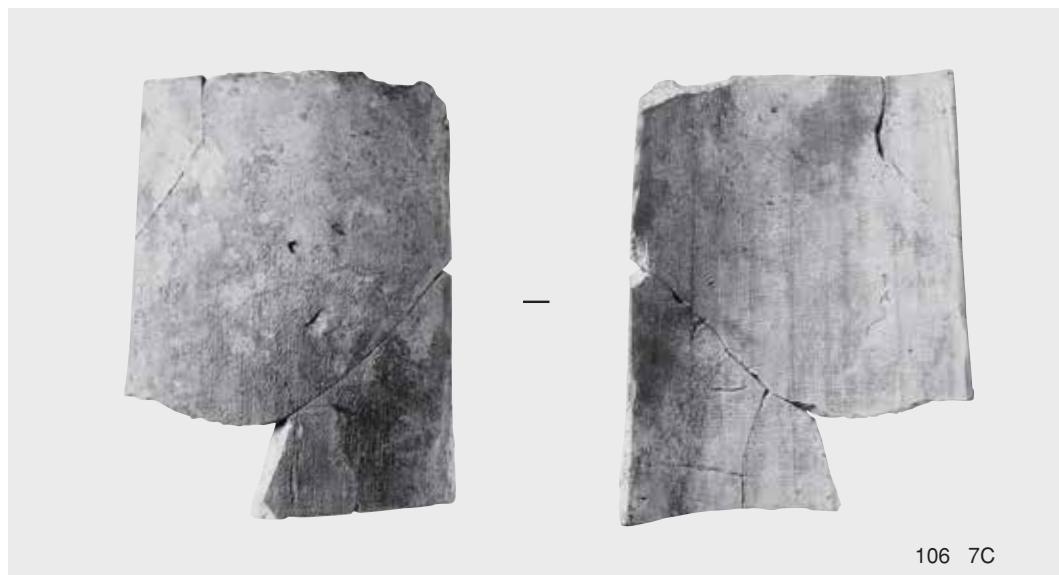
103 平瓦7類A。叩き締めの円弧を描く縄叩き目。



104 平瓦7類B。側辺に平行するタテ縄叩き目。凹面中央にヘラ書「大」。



105 平瓦7類A。斜格子叩き目が共存する例。



106 平瓦7類C。凸面は狭端側1/3を調整。凹面は調整しない。粘土板合わせ目あり。



107 平瓦8類A。凸面に縄叩き目あり。凹面に粘土紐の痕跡あり。

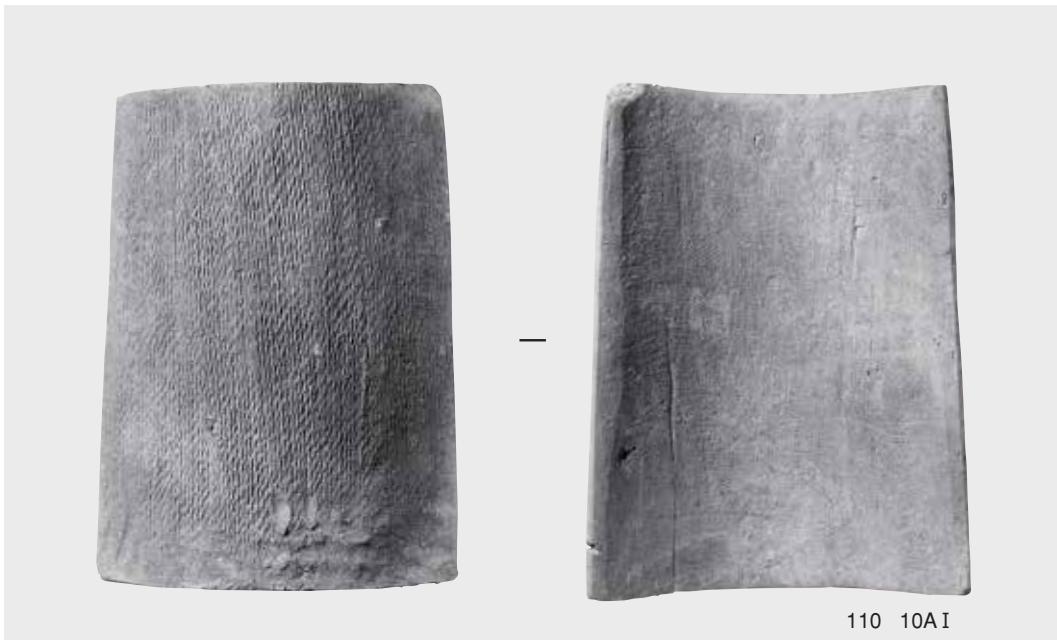


108 平瓦8類B。凹面の粘土紐の痕跡明瞭。側面に分割破面残る。



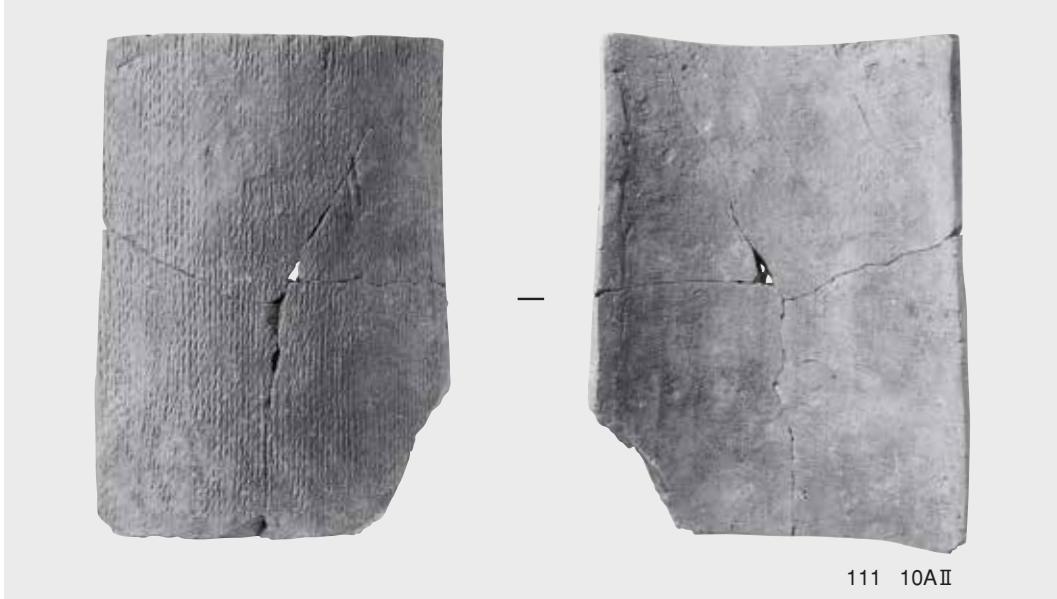
109 平瓦9類。凸面の粗い斜格子叩き目は円弧を描かない。凹面に側板の痕跡なし。

1 : 6



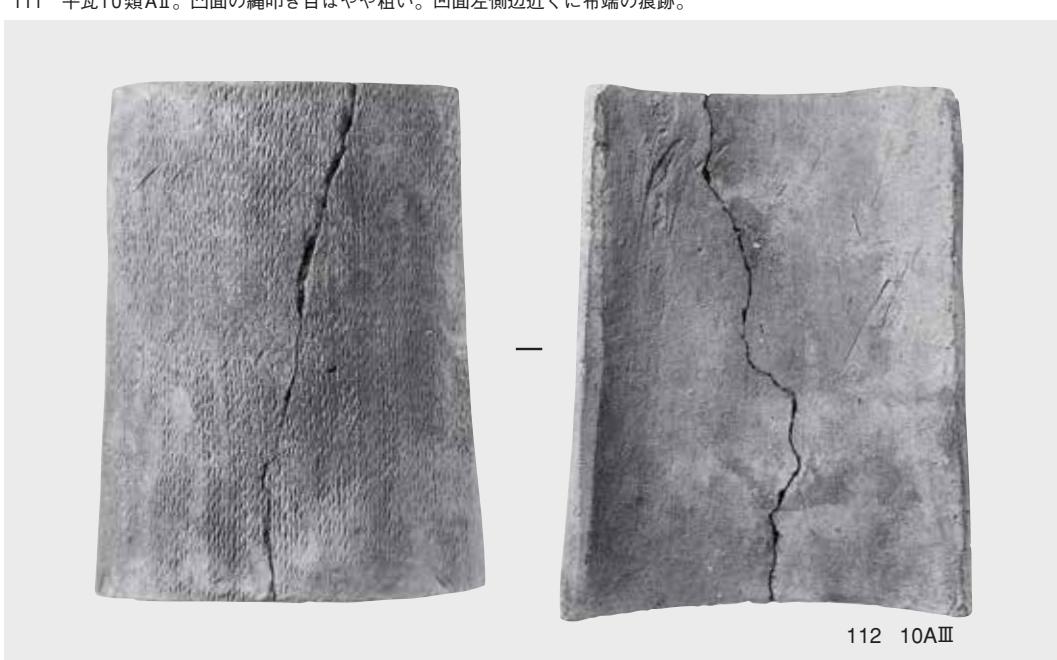
110 平瓦10類AI。凸面タテ縄叩き目。

110 10AI



111 平瓦10類AII。凸面の縄叩き目はやや粗い。凹面左側辺近くに布端の痕跡。

111 10AII



112 平瓦10類AIII。10類AI・IIより一回り大型。

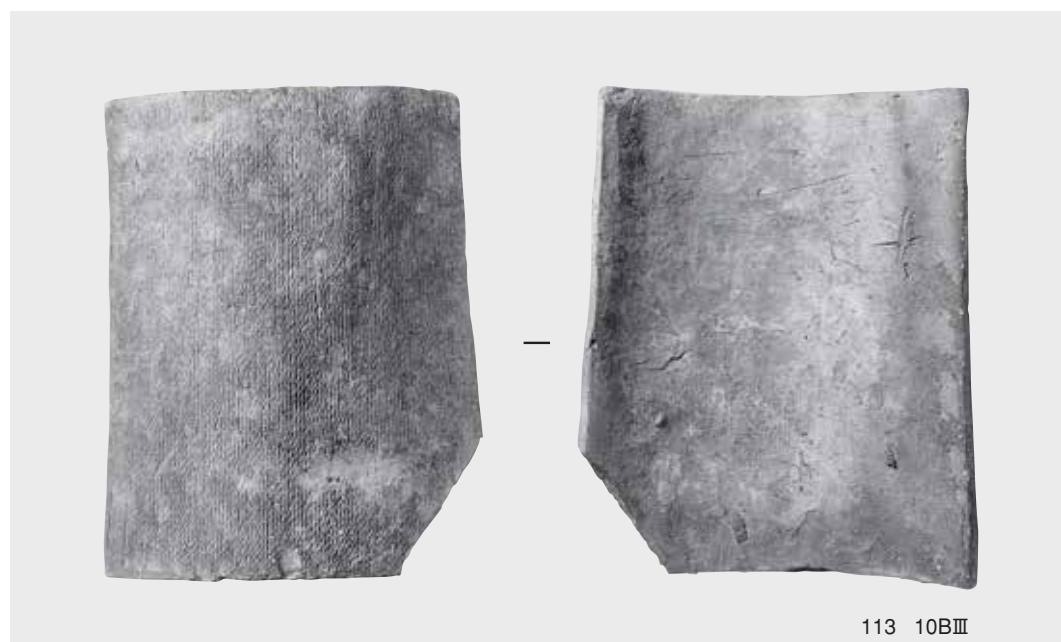
112 10AIII



113 平瓦10類BI。縄叩き目の条が細い。凸面狭端近くにユビオサエの痕跡。凹面広端隅に布継ぎ目。



114 平瓦10類BII。凸面全面にタテ縄叩き目。凹面調整せず、側辺近くに内叩きの痕跡あり。



115 平瓦10類BIII。凸面全面にタテ縄叩き目。凹面全面をナデ調整。ヘラ書「大」。

1 : 6



116 10BIV

116 平瓦10類BIV。凹面中央をタテにナデ調整。湾曲が強く凹面側縁がとがる。



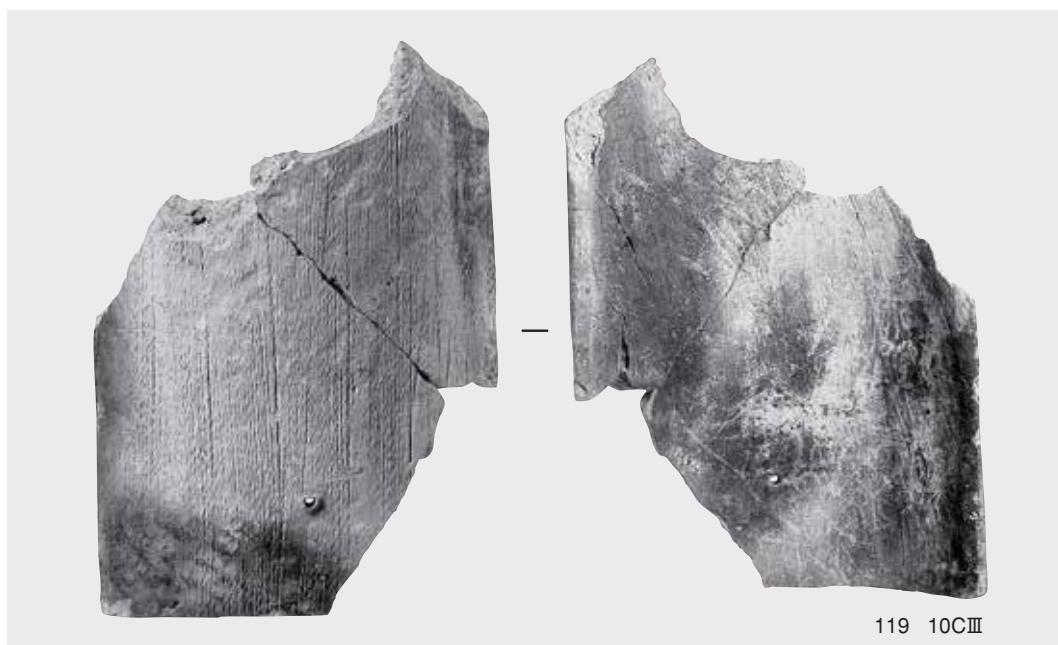
117 10CI

117 平瓦10類CI。瓦が長細く、凸面の縄叩き目が粗雑。



118 10CII

117 平瓦10類CII。凸面の縄叩き目は、条が長い。凹面に内叩きの痕跡多数。



119 平瓦10類CIII。凸面の縄叩き目は細い。広端近くに焼成前にあけた釘孔あり。

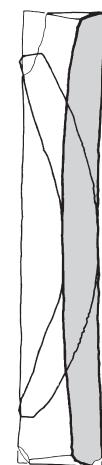


120 平瓦10類CIV。凸面の縄叩き目は若干右傾する。凹面に内叩きの痕跡明瞭。



121 平瓦10類DI。小型の縄叩き平瓦。凹面に離れ砂が付着。

1 : 6



122 10DⅡ

122 平瓦10類DⅡ。凸面にも糸切り痕がみえる。凹面に内叩きの痕跡。



123 10E

123 平瓦10類E。凸凸面に離れ砂。凸面の縄叩き目と凹面の布压痕は不明瞭。

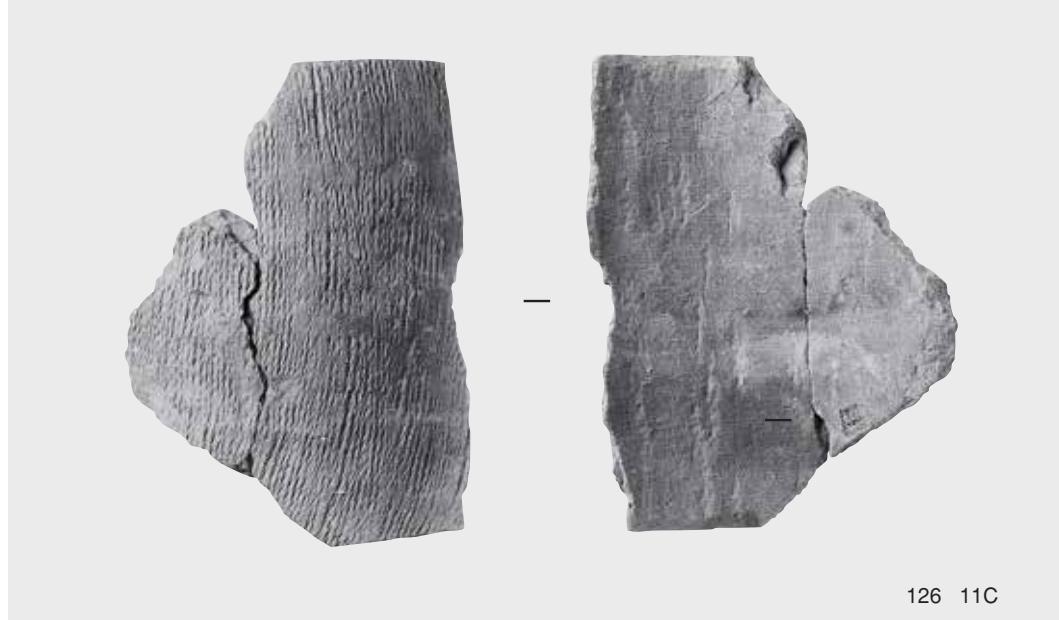


124 11A

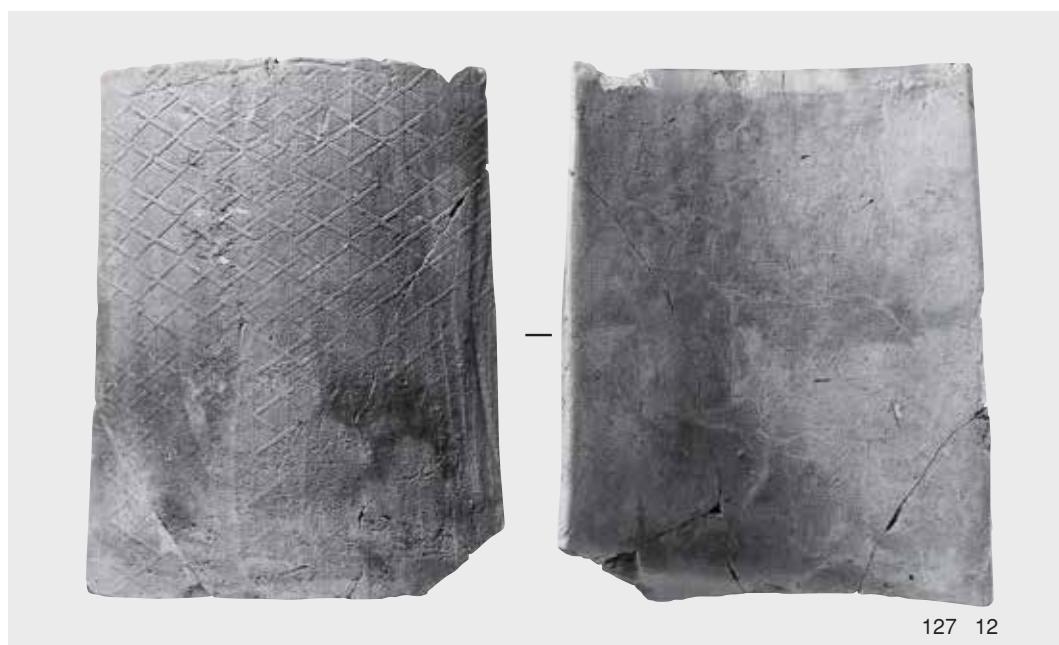
124 平瓦11類A。凸面に右上がりの斜め縄叩き目。凹面調整せず、広端側隅にヘラ書「大」。



125 平瓦11類B。凸面左半は右上がり、右半はタテの縄叩き目。凹面広端側に布端の痕跡あり。



126 平瓦11類C。凸面は広端近くで若干傾斜する縄叩き目。凹面に内叩きの痕跡。



127 平瓦12類。凸面に大振りの斜格子叩き目。凹面は丁寧な調整。狭端縁を深くヘラケズリ。

1 : 6



128 7D

128 平瓦7類D。円弧を描く縄叩き目。



1 平瓦7類Cの粘土板合わせ目と内叩き。



2 平瓦10類CIIの布端と内叩き。



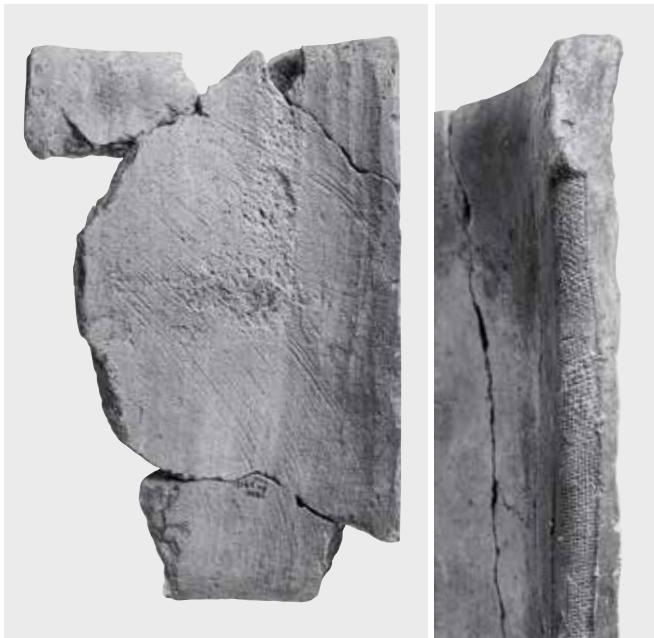
3 平瓦10類DIIの内叩き。



4 平瓦11類Cの内叩き。



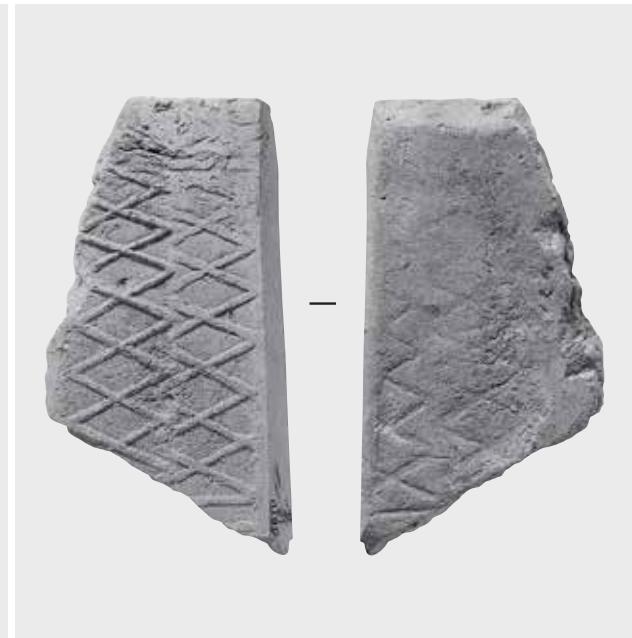
5 平瓦10類BIの布継ぎ目。



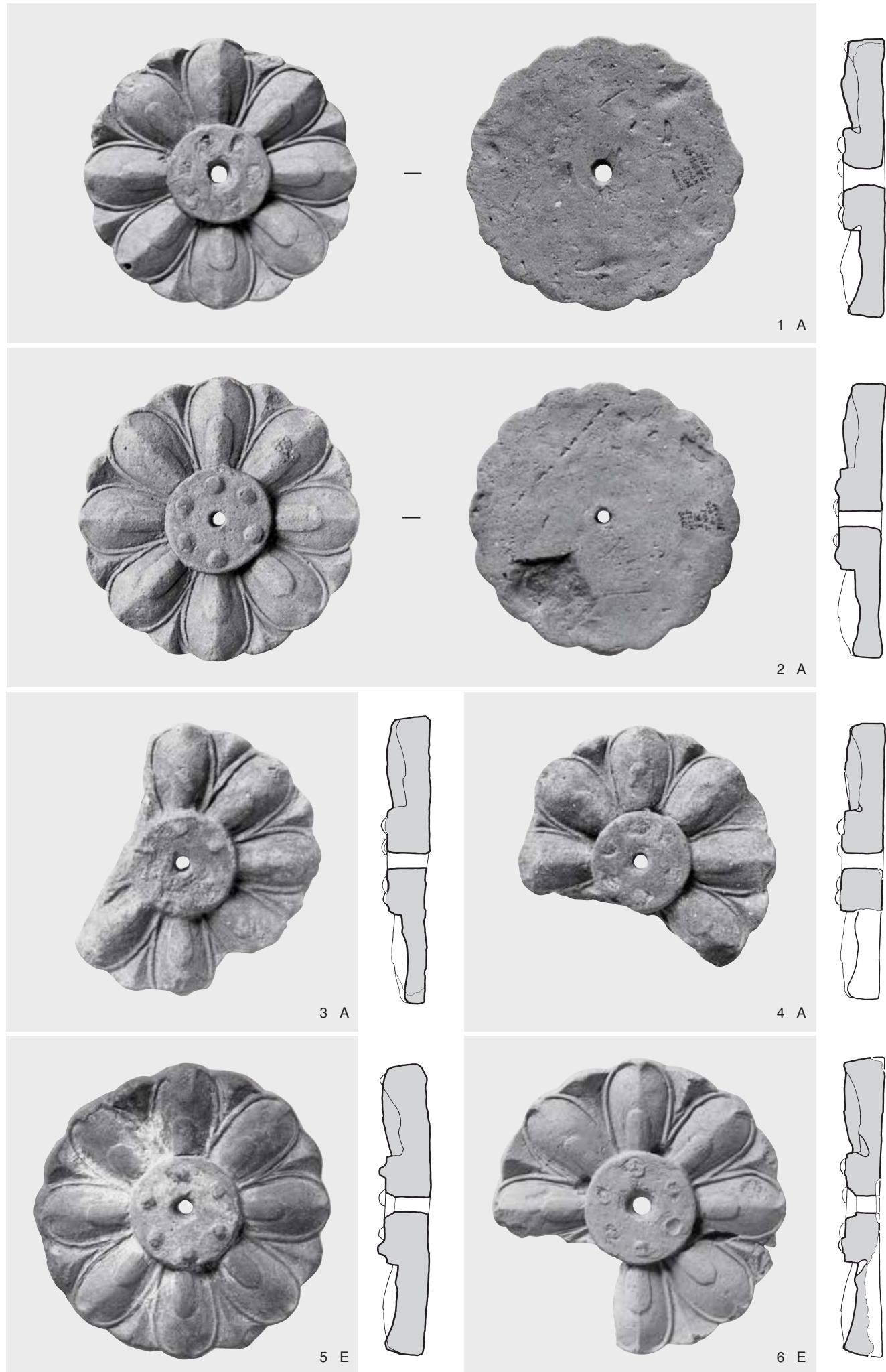
6 平瓦10類CIIの糸切り痕と風蝕痕。

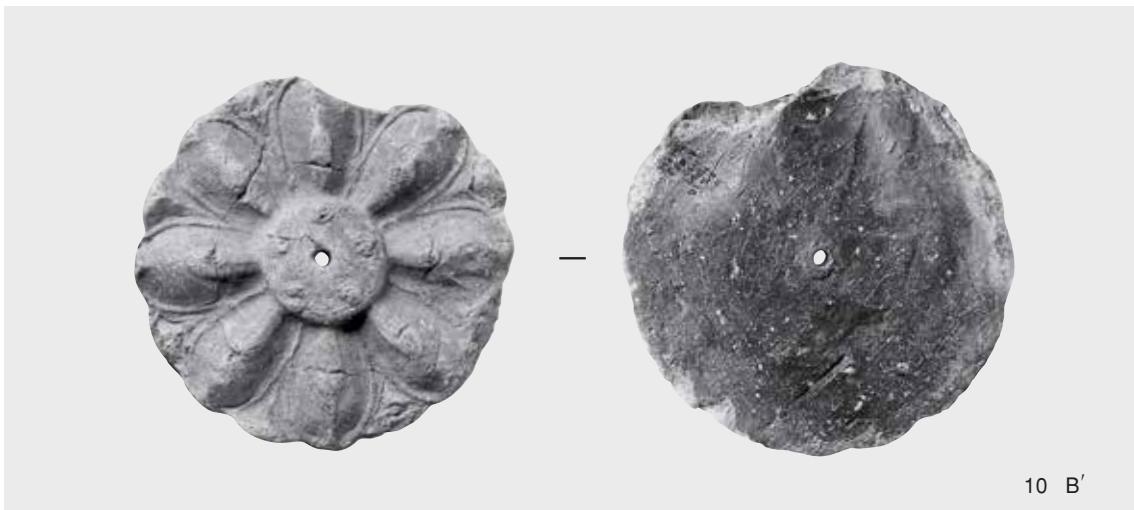
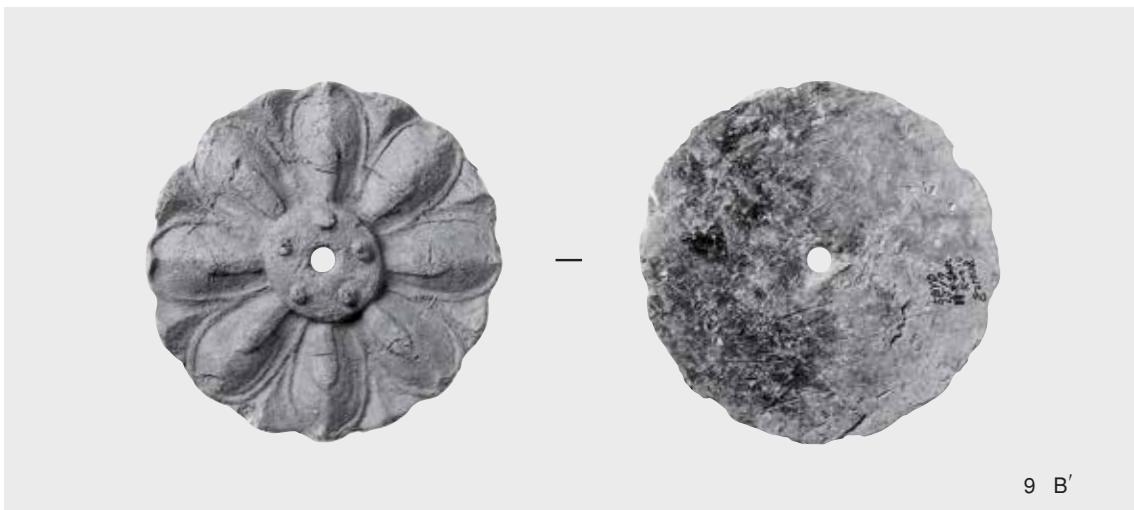
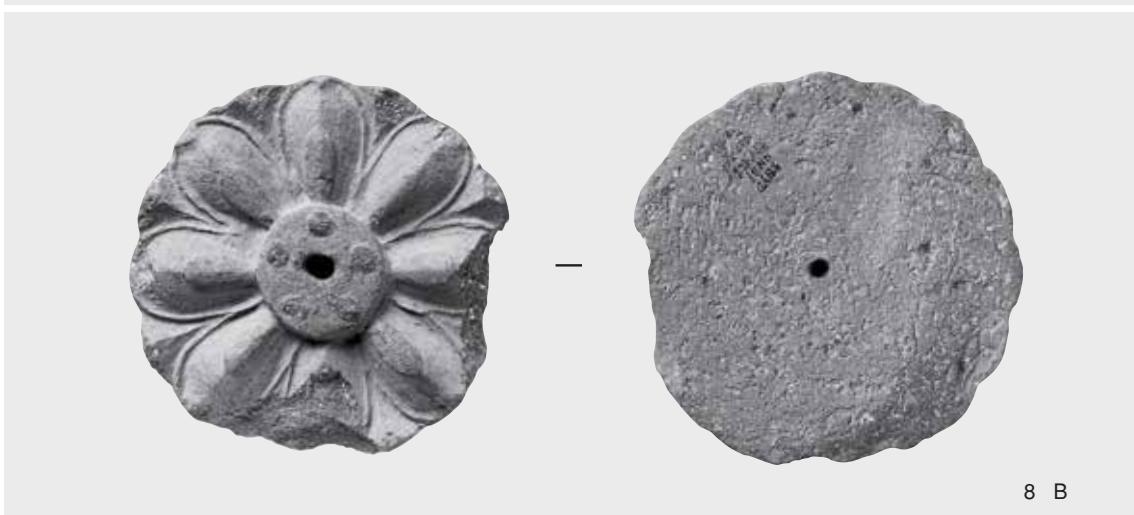
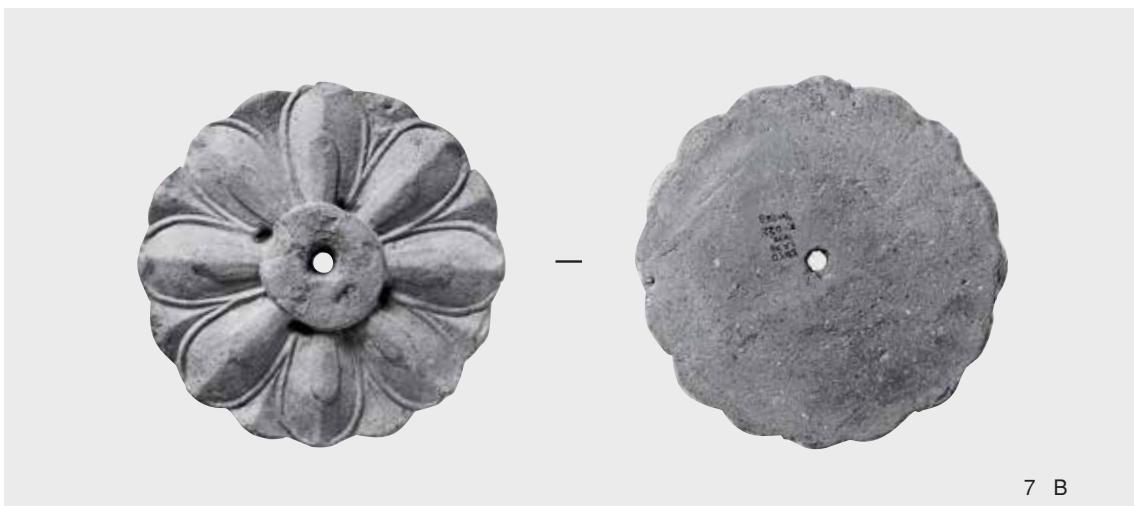


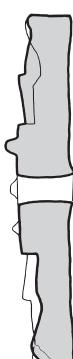
7 11類Bの側面。



8 平瓦12類凹面、叩き目の痕跡。







11 Ca



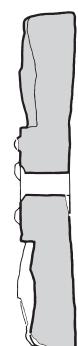
12 Cb



13 Cb



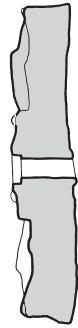
14 Cb



15 D



16 D



17 D



18 D



1 深いかしめ穴 (A種)。



2 浅いかしめ穴 (A種)。



3 かしめ穴に鋳がつまるもの (B種)。



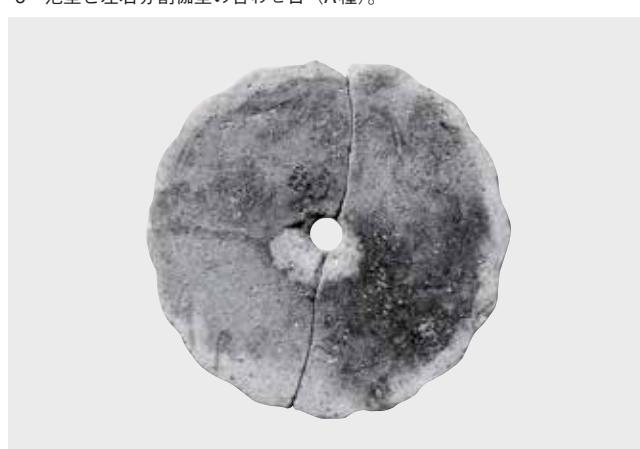
4 柁型端の粘土のはみだし (B種)。



5 范型と左右分割柵型の合わせ目 (A種)。



6 范型と柵型の合わせ目 (A種)。



7 裏面の外周に残る風化の跡 (B種)。



8 裏面はナデ調整 (B種)。



9 ケズリ調整のアップ (D種)。



10 ケズリ調整のアップ (B種)。



11 ハケ目調整のアップ (Cb種)。



1 粘土の詰め方 (D種)。



2 粘土の詰め方 (B種)。



3 Cb種 釘孔が2孔のもの。



4 D種 范傷1段階のアップ。



5 B種 側面の突起。



6 B'種 側面の突起。



7 釘孔の断面① (D種)。



7 釘孔の断面① (D種)。



9 釘孔の断面② (B種)。



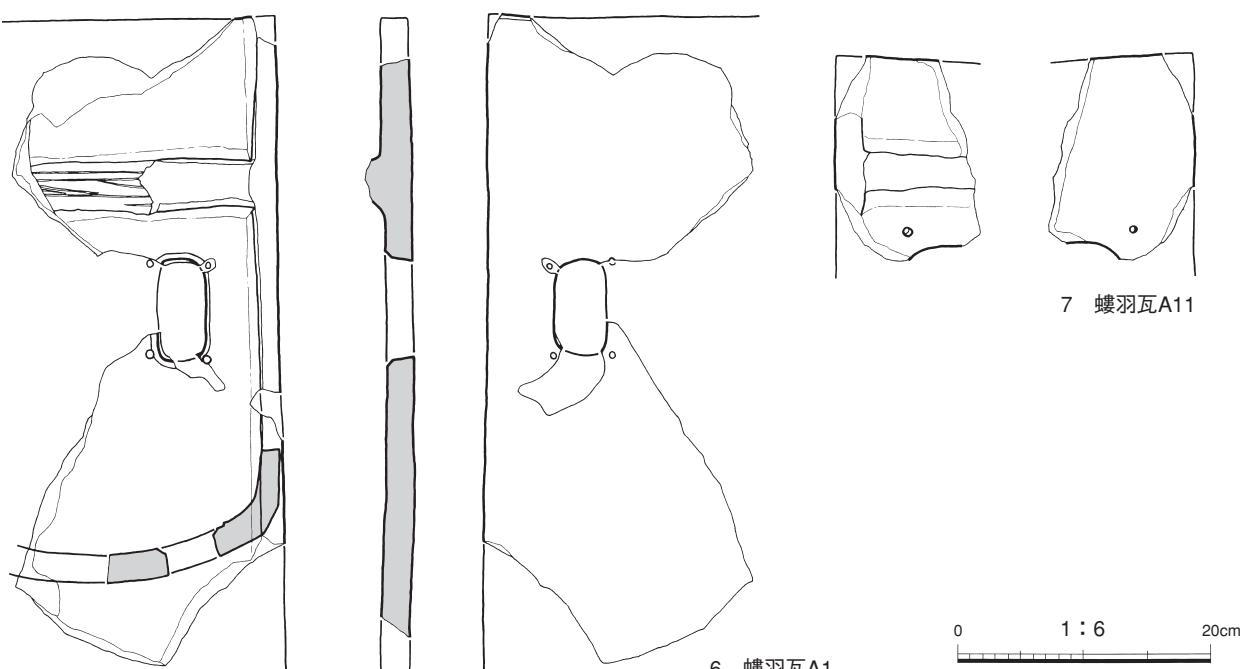
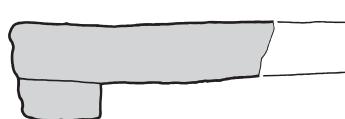
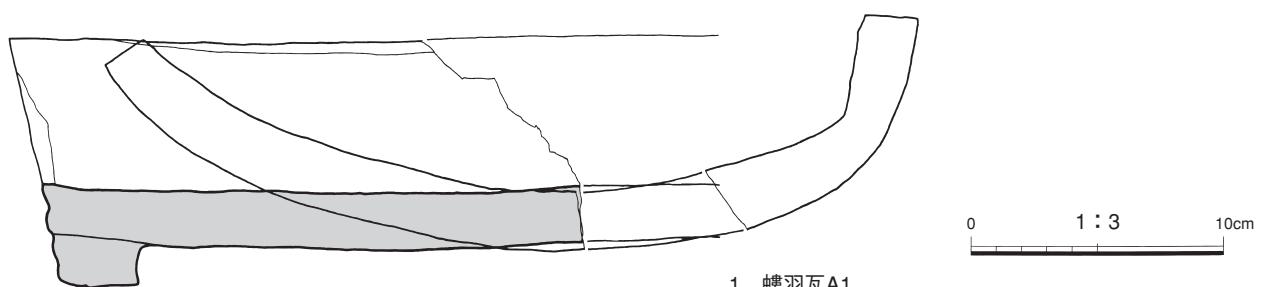
10 釘孔の断面③ (Cb種)。



11 釘孔の断面④ (A種)。



12 釘孔の断面④ (A種)。



1 蟻羽瓦A1の狭端部。突帯と方形の穿孔あり。

2 孔は隅丸方形、四隅に小孔あり。

1 : 3 (1・2を除く。6・7は1:6)



1 蟠羽瓦A1



2 蟠羽瓦A2



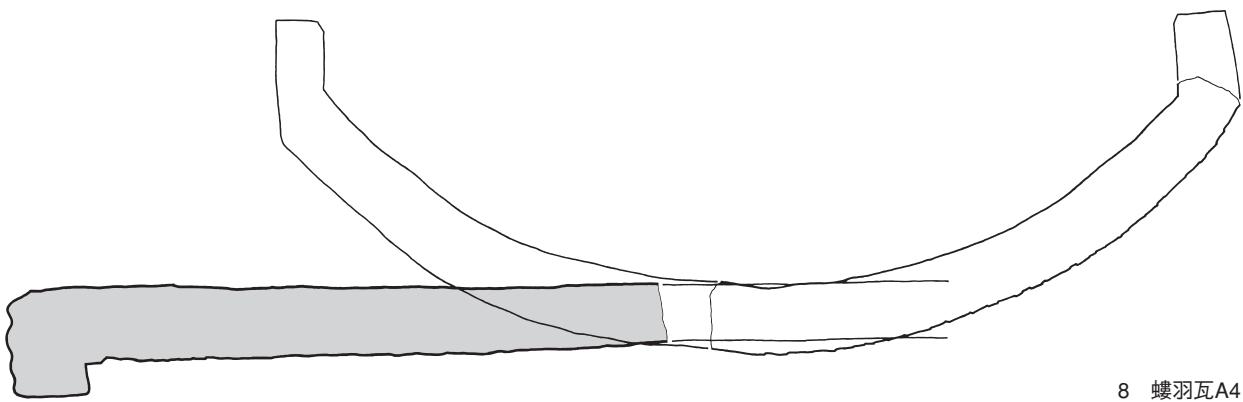
3 蟠羽瓦A3



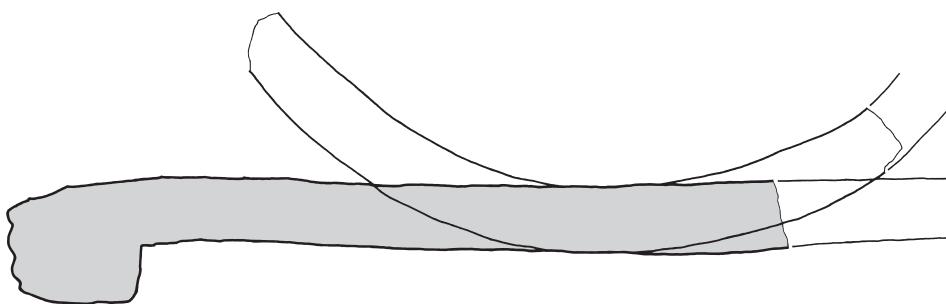
4 蟠羽瓦A7



5 蟠羽瓦A6

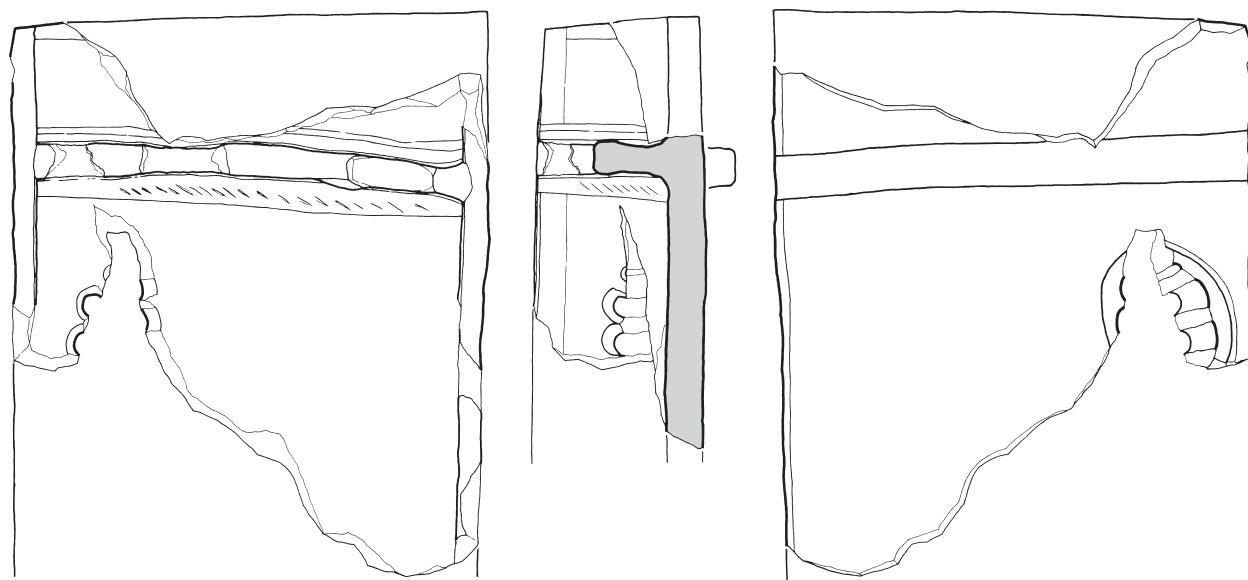


8 螺羽瓦A4



9 螺羽瓦A5

0 1 : 3 20cm



10 螺羽瓦A4 · 5



0 1 : 6 40cm



8 蟠羽瓦A4



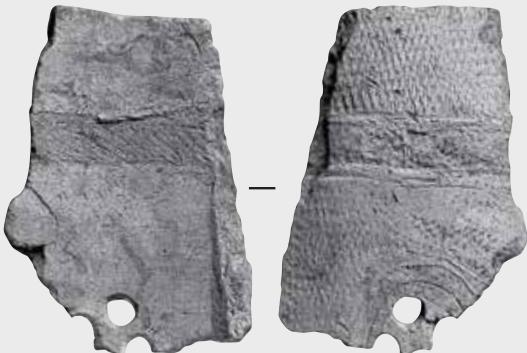
9 蟠羽瓦A5



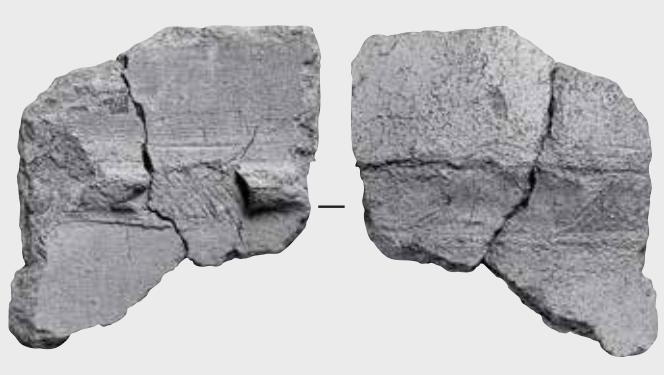
1 蟠羽瓦 A4・5の狭端部。凸帯の2箇所に丸い挿り。



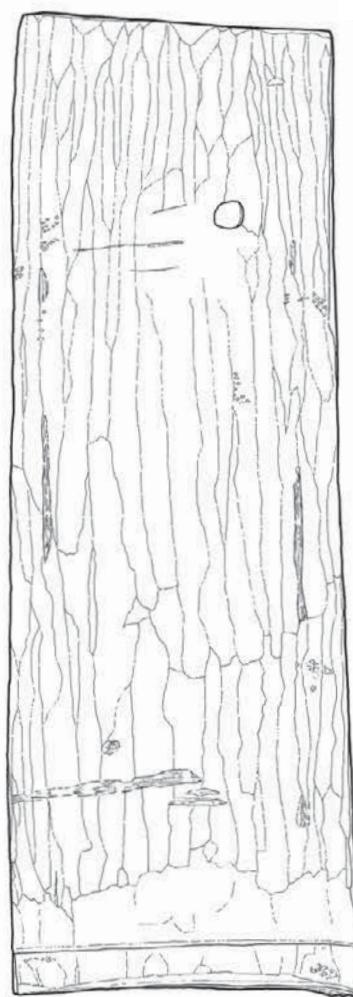
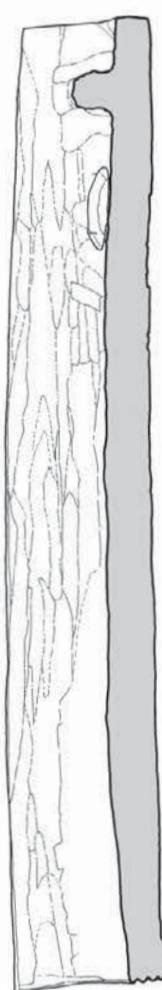
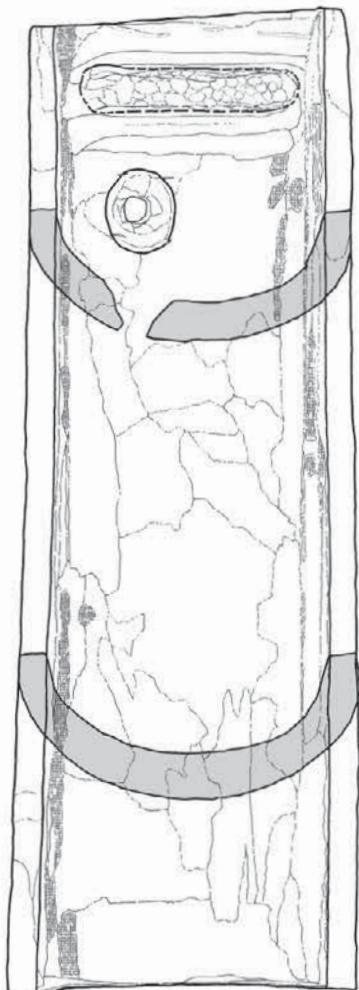
2 その凸面。凸帯の痕跡と周囲に凸帯を巡らせた穿孔部。



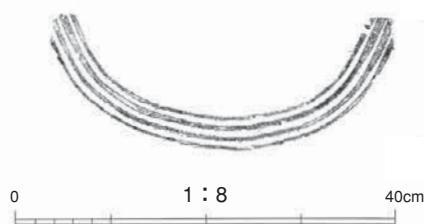
3 蟠羽瓦 A4・5 狹端部。穿孔部の孔は6~7個。



4 蟠羽瓦 A4・5 狹端部。凹凸面の凸帯剥離。



11 蟻羽瓦B1



3 実測している様子。美女と蟻羽瓦。



1 蟻羽瓦 B1 の狭端部。円孔と突帯。円孔に割付線あり。



2 瓦当近くの凸面。顎面に割付線。ほぼ全面ヘラケズリ。



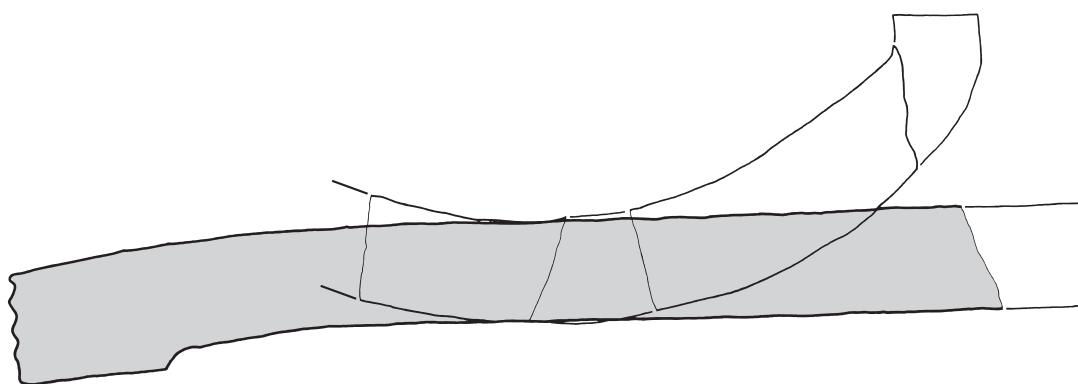
11 蟠羽瓦B1



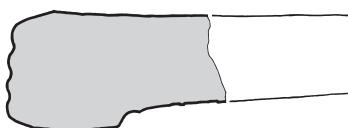
12 蟠羽瓦B1



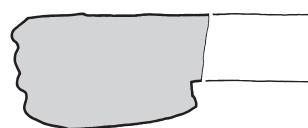
13 蟠羽瓦B1



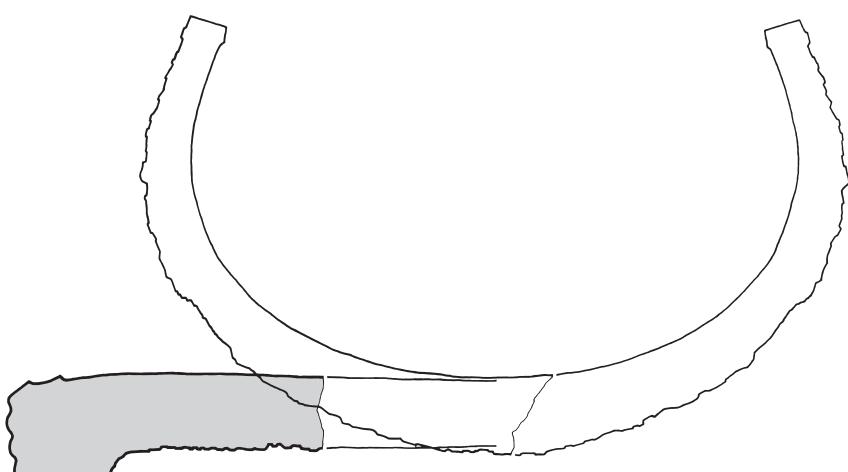
14 蟠羽瓦B2



15 蟠羽瓦B3



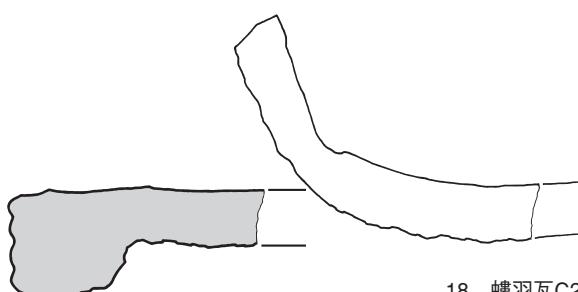
16 蟠羽瓦B4



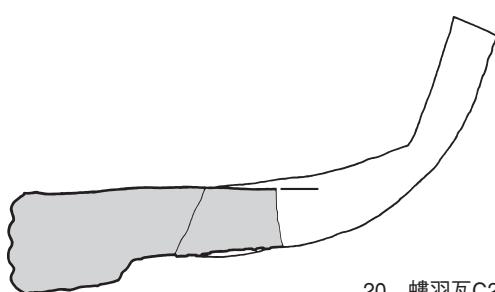
17 蟠羽瓦C1



19 蟠羽瓦D



18 蟠羽瓦C2



20 蟠羽瓦C2

0 1 : 3 20cm



1 蟠羽瓦C1の狭端部。



2 蟠羽瓦C3の狭端部。



3 蟠羽瓦C2の狭端部。



14 蟠羽瓦B2



15 蟠羽瓦B3



16 蟠羽瓦B4



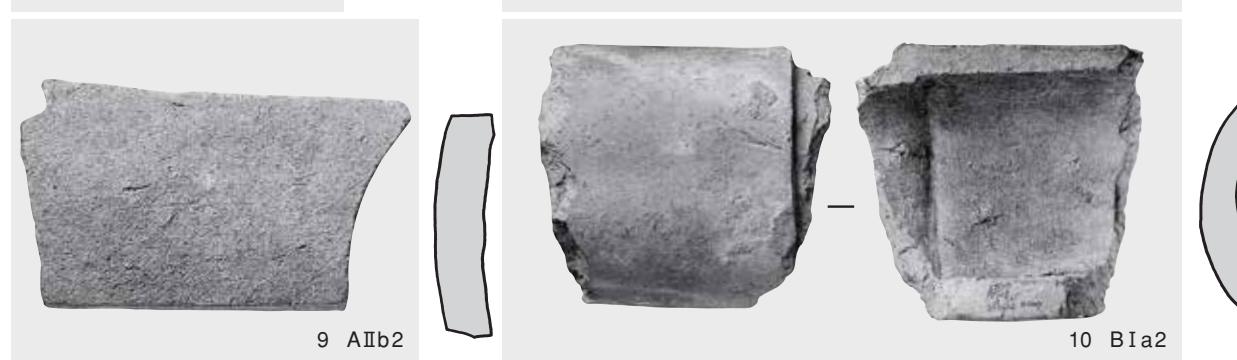
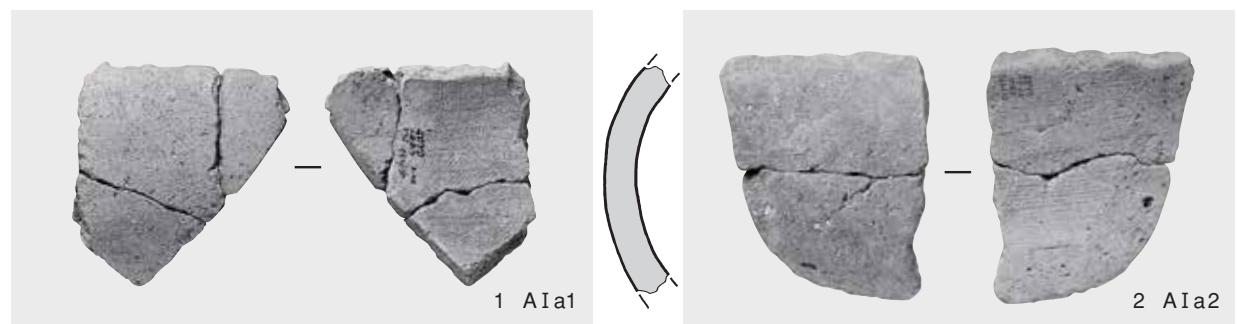
17 蟠羽瓦C1

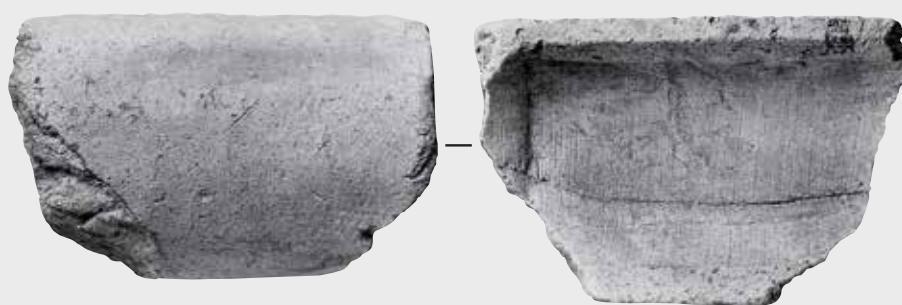


18 蟠羽瓦C2

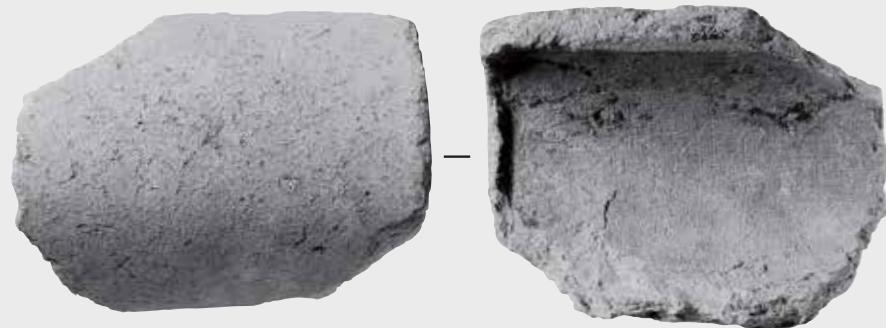
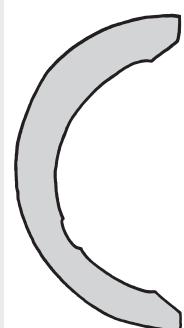


19 蟠羽瓦D

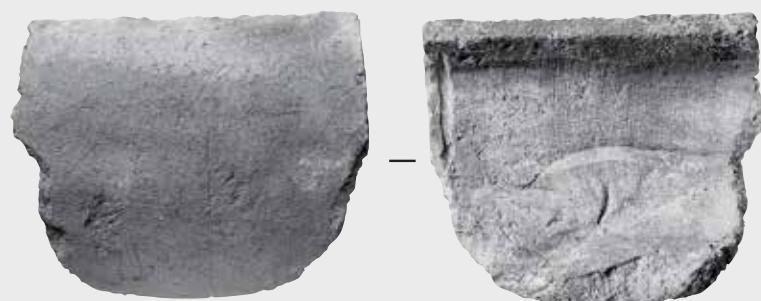
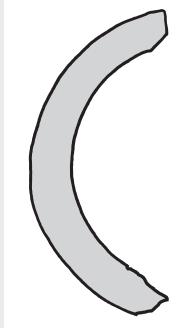




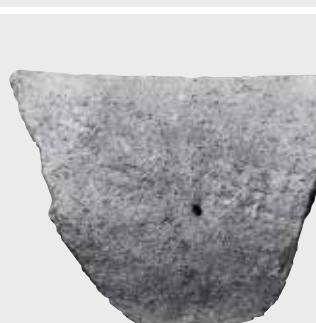
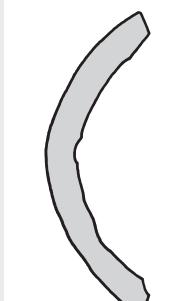
1 BIa1



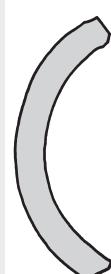
2 BIb1



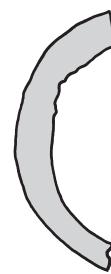
3 BIb2①



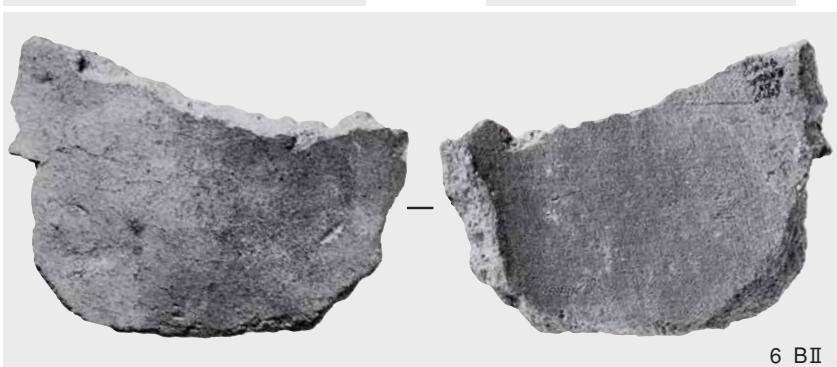
4 BIb2①



5 BIb2②



I



6 BI



7 BIII



1 割熨斗瓦B。粘土板合わせ目Zで割った例。

2 割熨斗瓦B。風蝕痕が幅広の例。



3・4 割熨斗瓦B。凹面にも風蝕痕。平瓦として使用のち熨斗瓦に転用した例。



5 割熨斗瓦B。風蝕痕。

6 割熨斗瓦B。幅広の風蝕痕。



7 割熨斗瓦B。幅8cmほどの風蝕痕。

8 割熨斗瓦B。瓦の幅は合わせ目まかせ。



9 割熨斗瓦B。粘土板合わせ目Zで分割。

10 粘土板合わせ目Sで分割。

11 風蝕痕と葺き土。



12 風蝕痕。

13 幅広の風蝕痕。

14 不整形な割熨斗瓦B。

15 割熨斗瓦C。風蝕痕不明瞭。



16 割熨斗瓦A

16 割熨斗瓦A。側面に風蝕痕。



17 割熨斗瓦D

17 割熨斗瓦D。側面に風蝕痕。



18 割熨斗瓦D

18 割熨斗瓦D。側面に風蝕痕。



19 割熨斗瓦E

19 割熨斗瓦E。平瓦11類を加工。



20 割熨斗瓦F

20 割熨斗瓦F。平瓦10類Bを加工。



21 割熨斗瓦F

21 割熨斗瓦F。平瓦10類Aを加工。



22 割熨斗瓦B

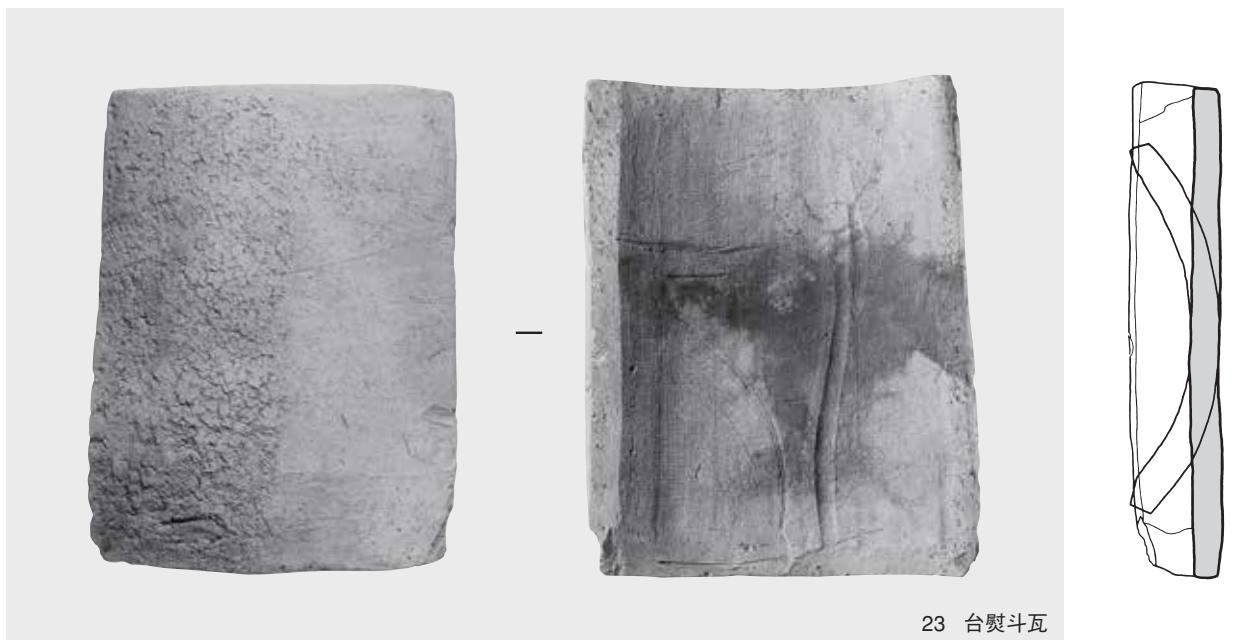
22 割熨斗瓦Bで半割面に風蝕痕がある例。



1 割熨斗瓦B凸面の凹型台痕跡。



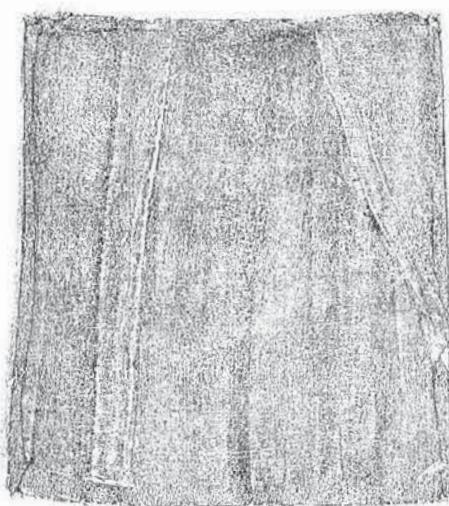
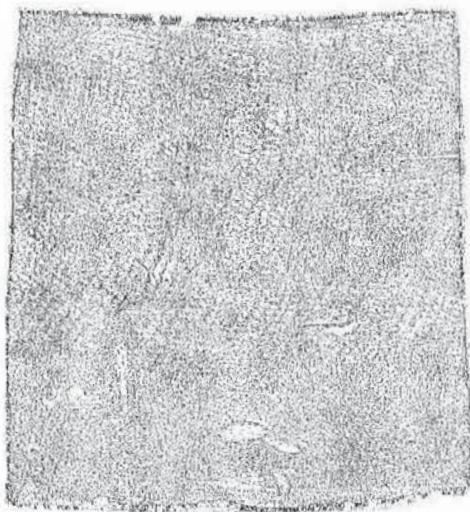
2 割熨斗瓦Eの半割面細部。



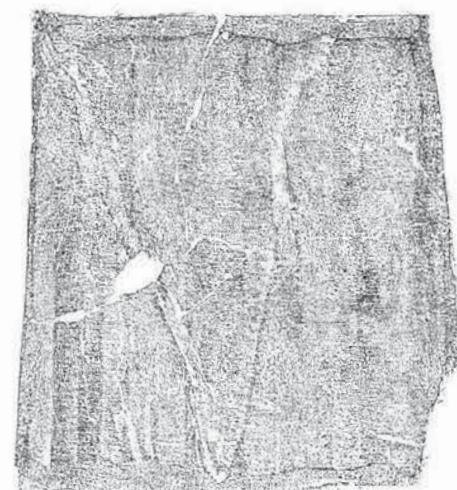
23 台熨斗瓦。凸面のタテ半分に風蝕痕。凹面に葦土。



1 : 6 (1・2を除く)



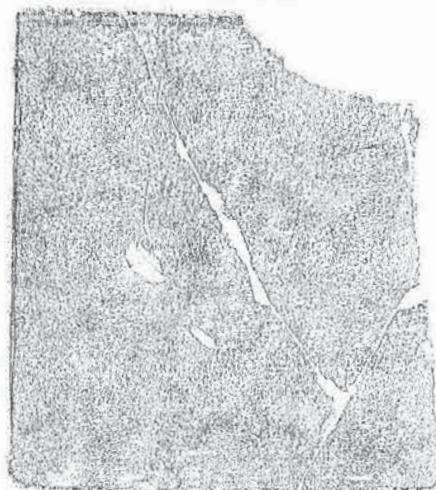
1 雁振瓦1



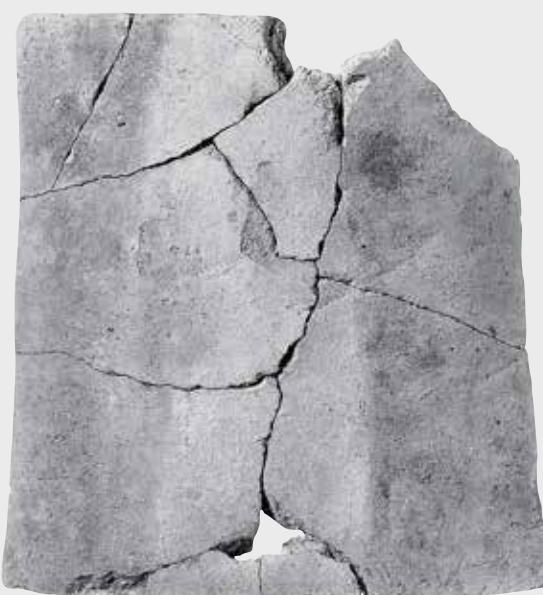
2 雁振瓦1



3 雁振瓦2

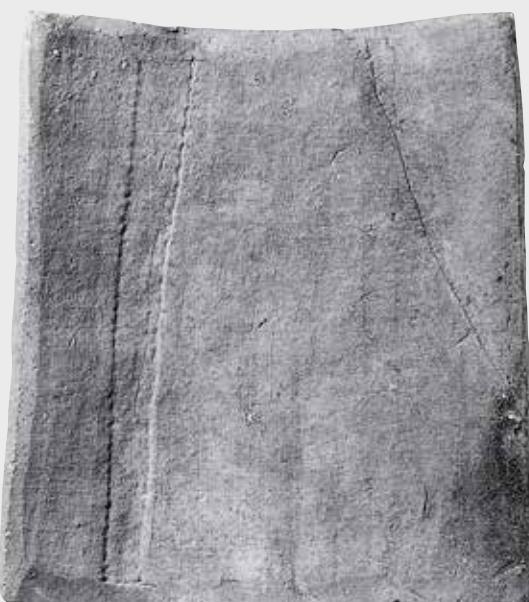


4 雁振瓦1



3 雁振瓦2

3 雁振瓦2。凸面の中央に葺土の痕跡が明瞭に残る。



1 雁振瓦1

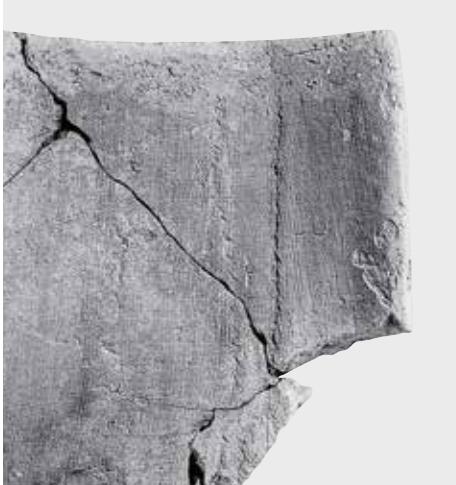


5 雁振瓦1。凹面の布綴じ痕 i。



6 布綴じ痕 ii。

1 雁振瓦1。凹面の布綴じ痕 ii。



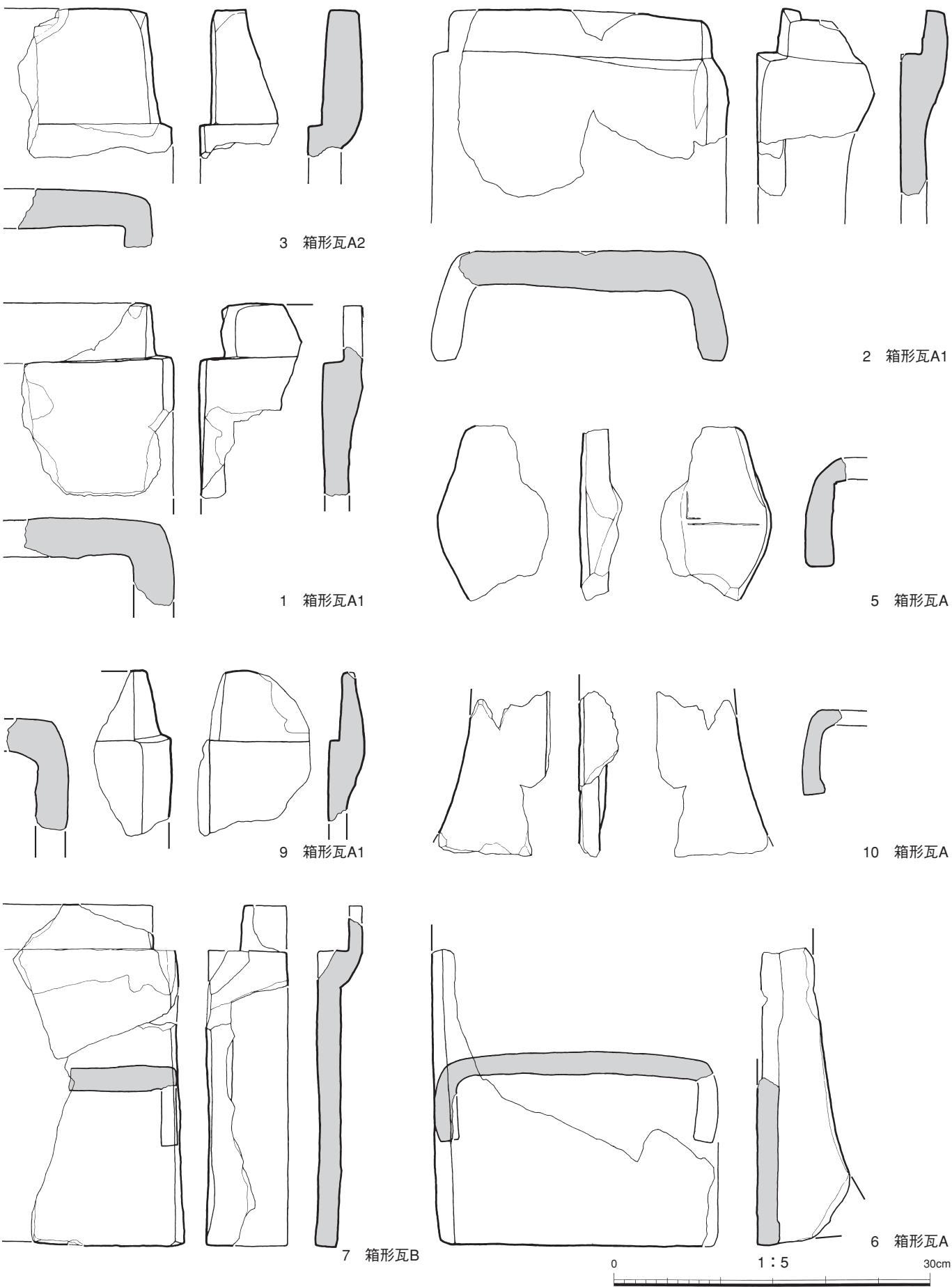
7 雁振瓦2。布綴じ痕 iii。



8 雁振瓦3。布綴じ痕 iv。



9 側面打ち欠き。





1 箱形瓦 A1 の玉縁部凹面。ナデ調整。



2 箱形瓦 A1 の玉縁部外観。玉縁が短い。側辺波形。



3 箱形瓦 A2 の玉縁部凹面。不調整。



4 箱形瓦 A2 の玉縁部外観。玉縁が長い。端部に斜格子叩き目。



5 箱形瓦 A。側辺波形。凹面に割付線。



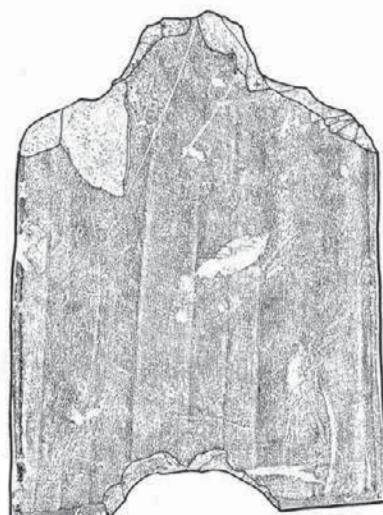
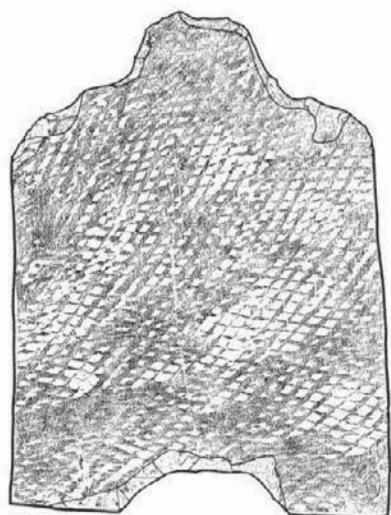
6 箱形瓦 A の広端部。側辺波形。



7 箱形瓦 B。玉縁部凹面。布綴じ合わせあり。

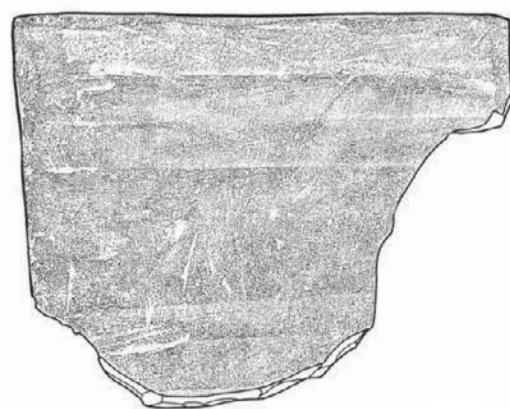
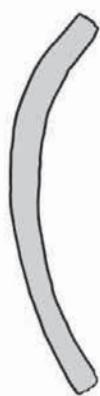
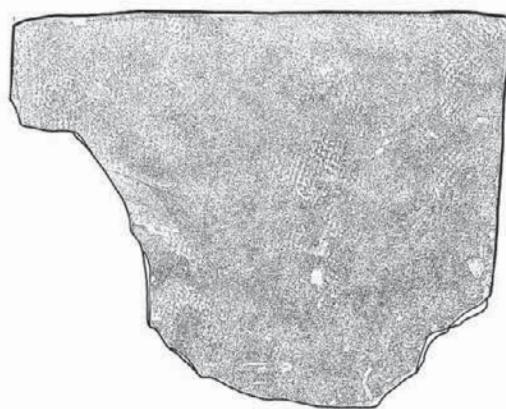


8 箱形瓦 B 外観。玉縁短い。側辺は直線。

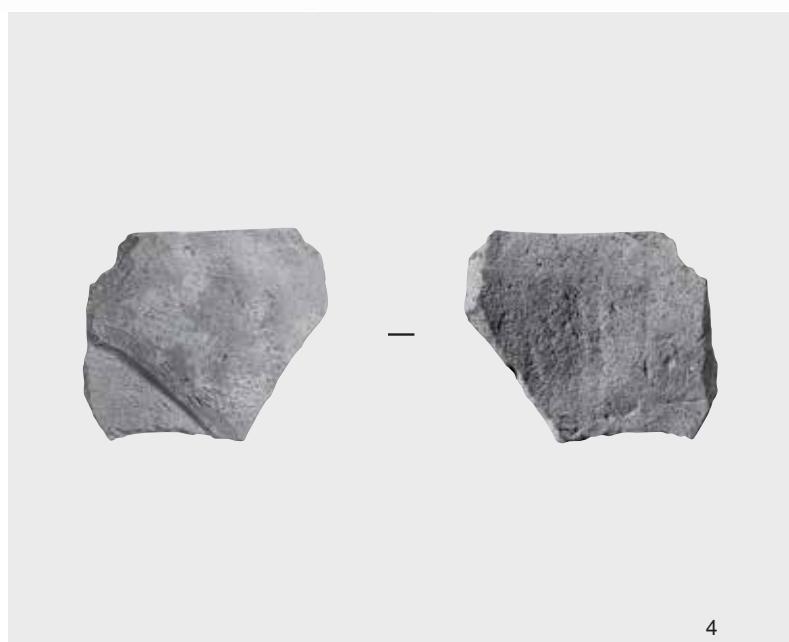


1

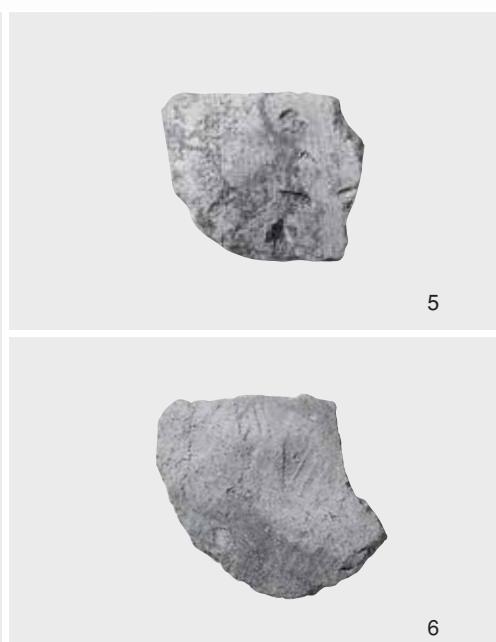
0 1 : 6 40cm



2



4



5



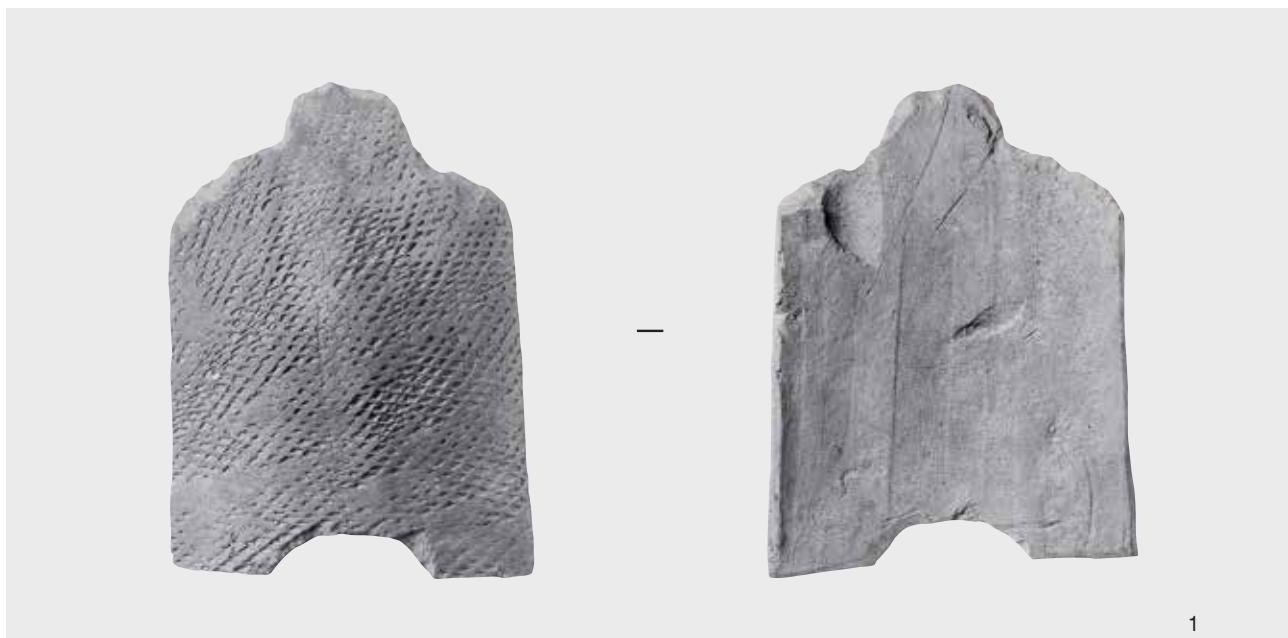
6

4 狹端とは斜めに段差を設けた平瓦。凹面に風蝕痕跡。

1 鬼瓦 2 大型面戸瓦 4~6 用途不明

1 : 6

5・6 平瓦を半円形に加工した瓦。



1 平瓦6類Aを焼成後に加工した「鬼瓦」。凹面に風蝕痕跡あり。平瓦として使用後に加工転用。宝藏出土。



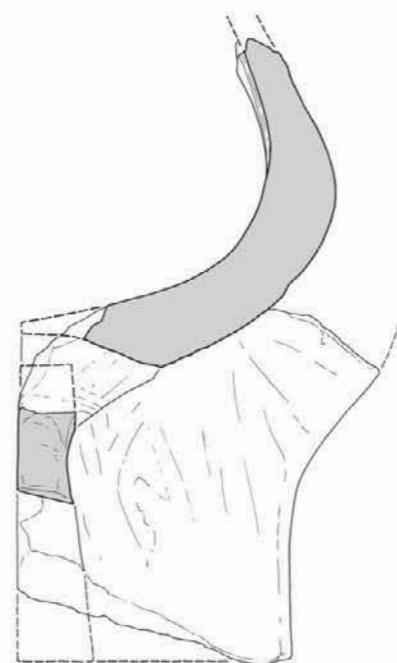
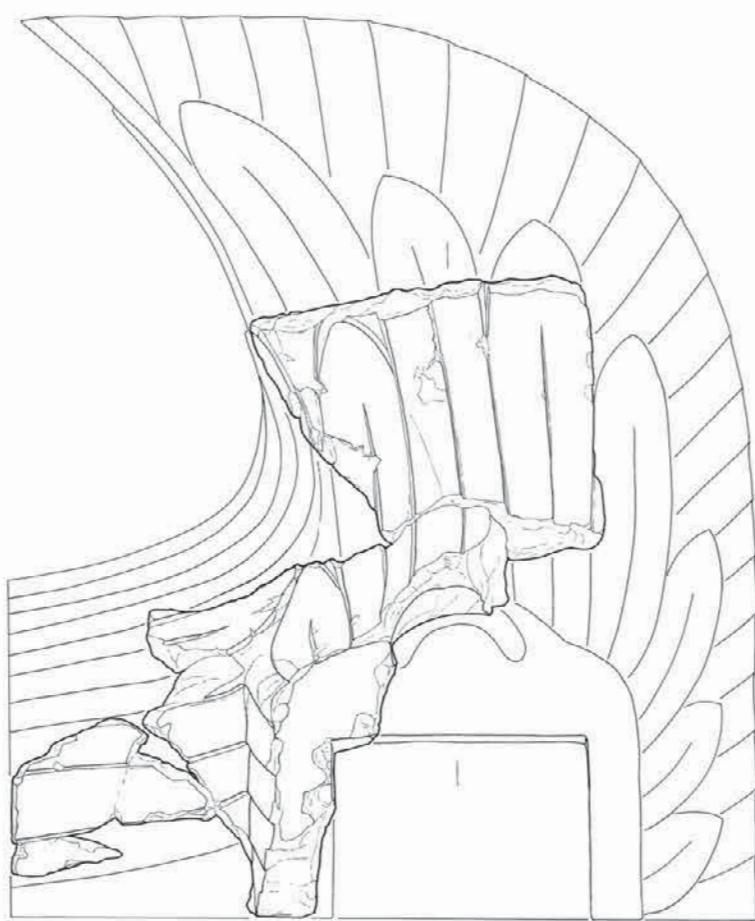
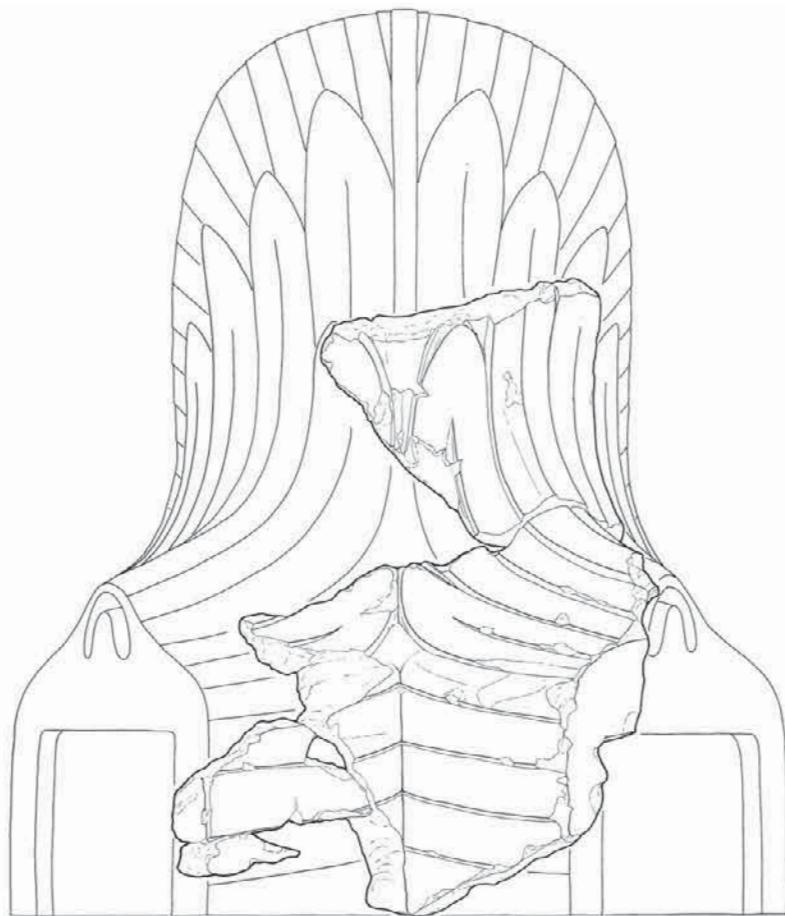
3 平瓦1類を面戸瓦風に加工した瓦。金堂出土。



3 平瓦4類の広端を切り縮め、カーブさせた瓦。葺き足が長い。東面回廊出土。

1 鬼瓦 2 大型面戸瓦 3 用途不明

1 : 6



1・2 双頭C1

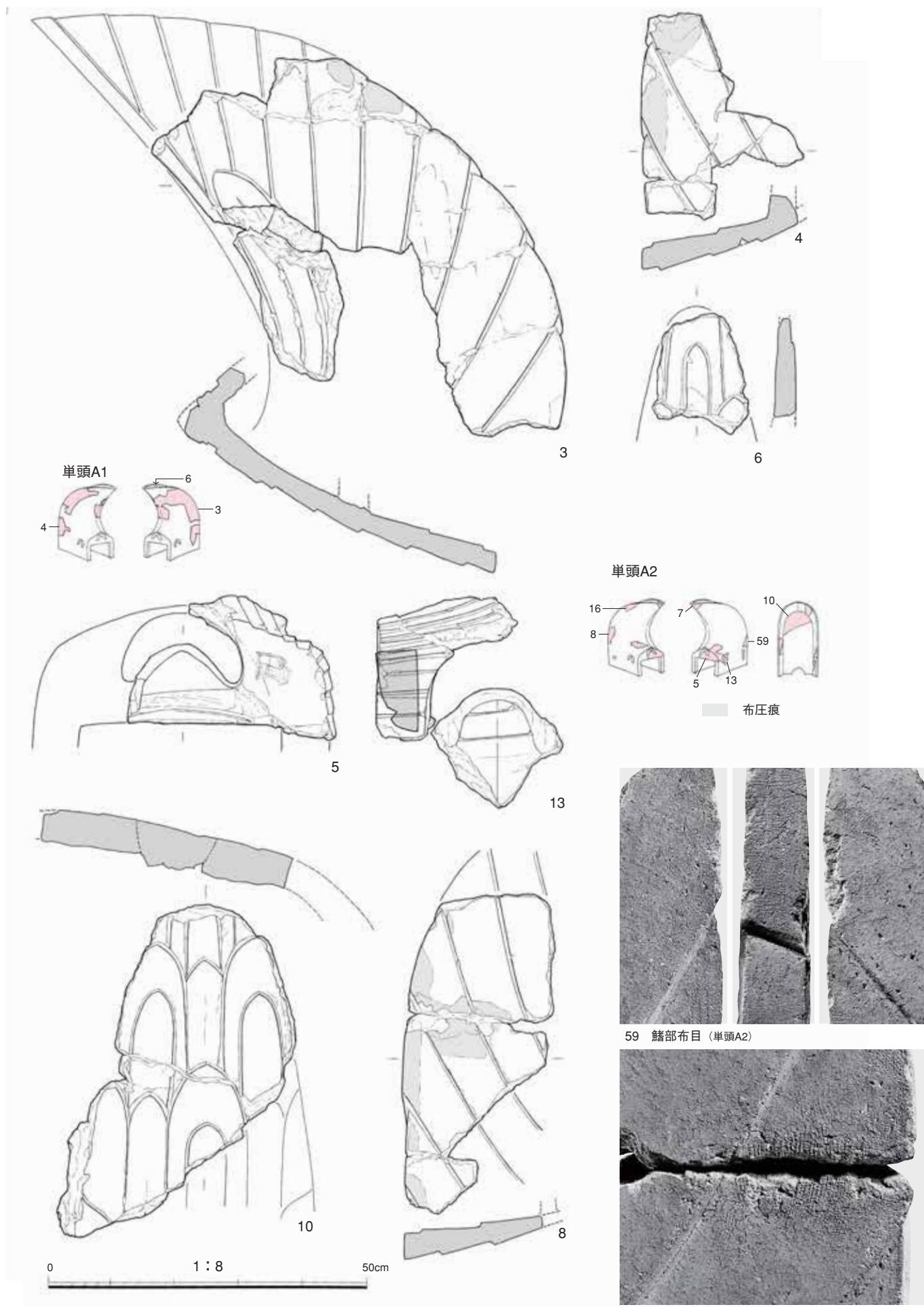
0 1 : 8 50cm



1 双頭C1



2 双頭C1



1 : 8 (8・9を除く)



3 単頭A1



4 単頭A1



5 単頭A2



6 単頭A1



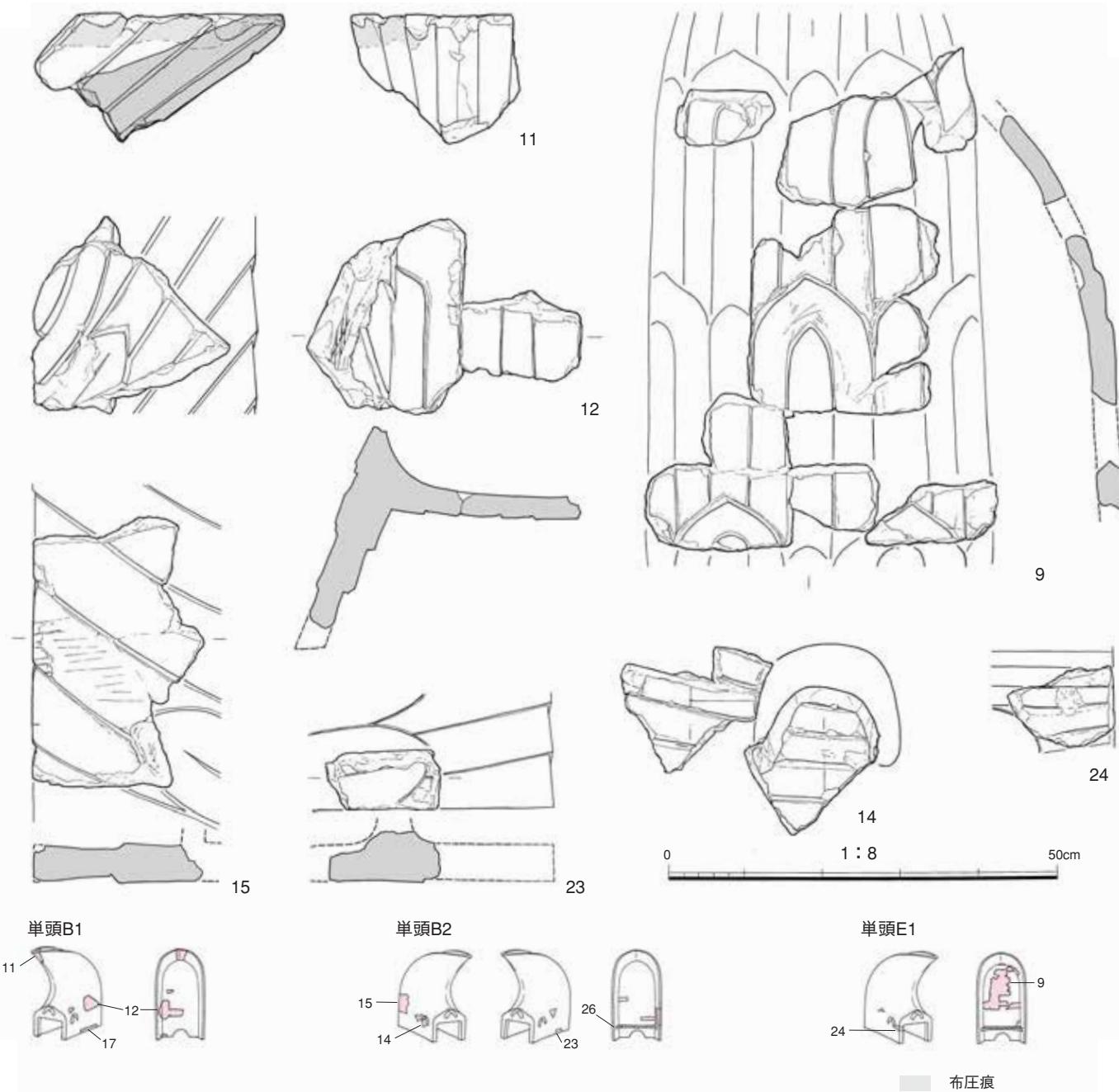
7 単頭A2



8 単頭A2



9 単頭E1

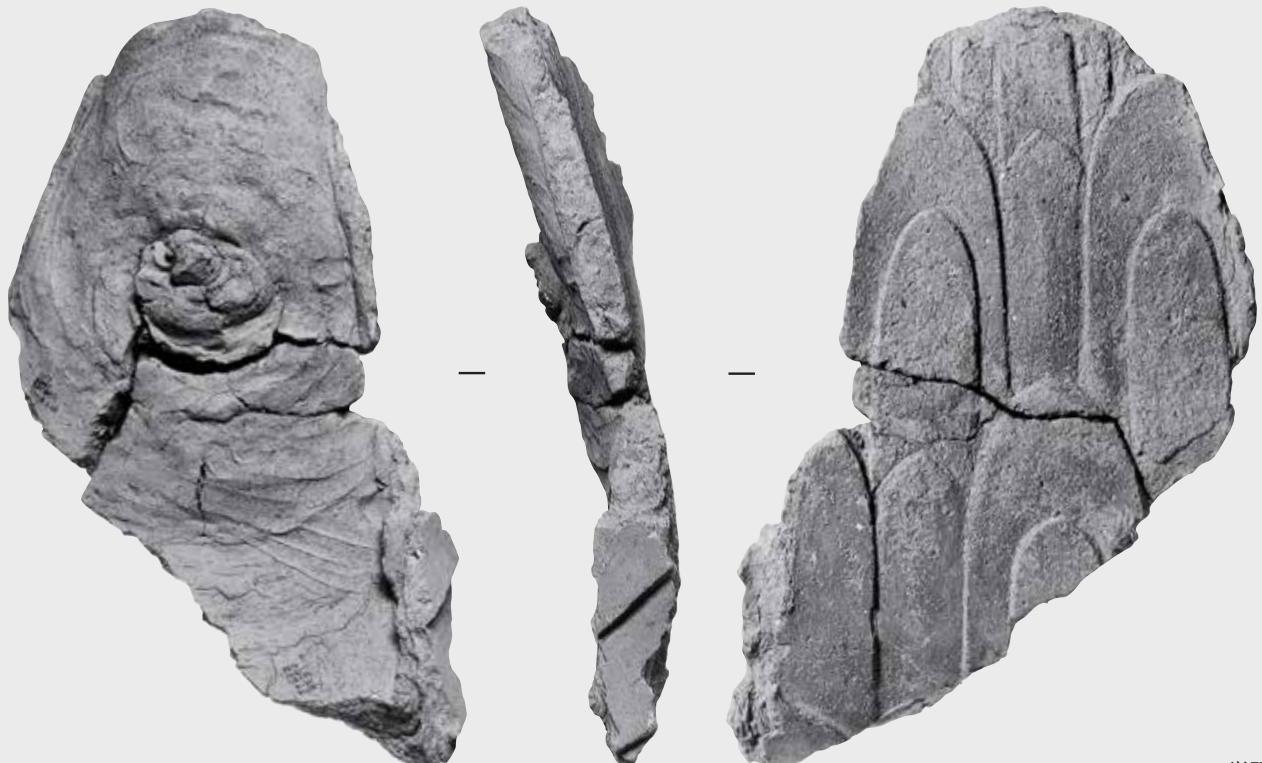


12 鰭部キザミ目 (単頭B1)

15 鰭部キザミ目 (単頭B2)

17 基底面布目 (単頭B1)

1 : 8 (12・15・17を除く)



10 単頭A2



11 単頭B1



12 単頭B1



13 単頭A2



14 単頭B2



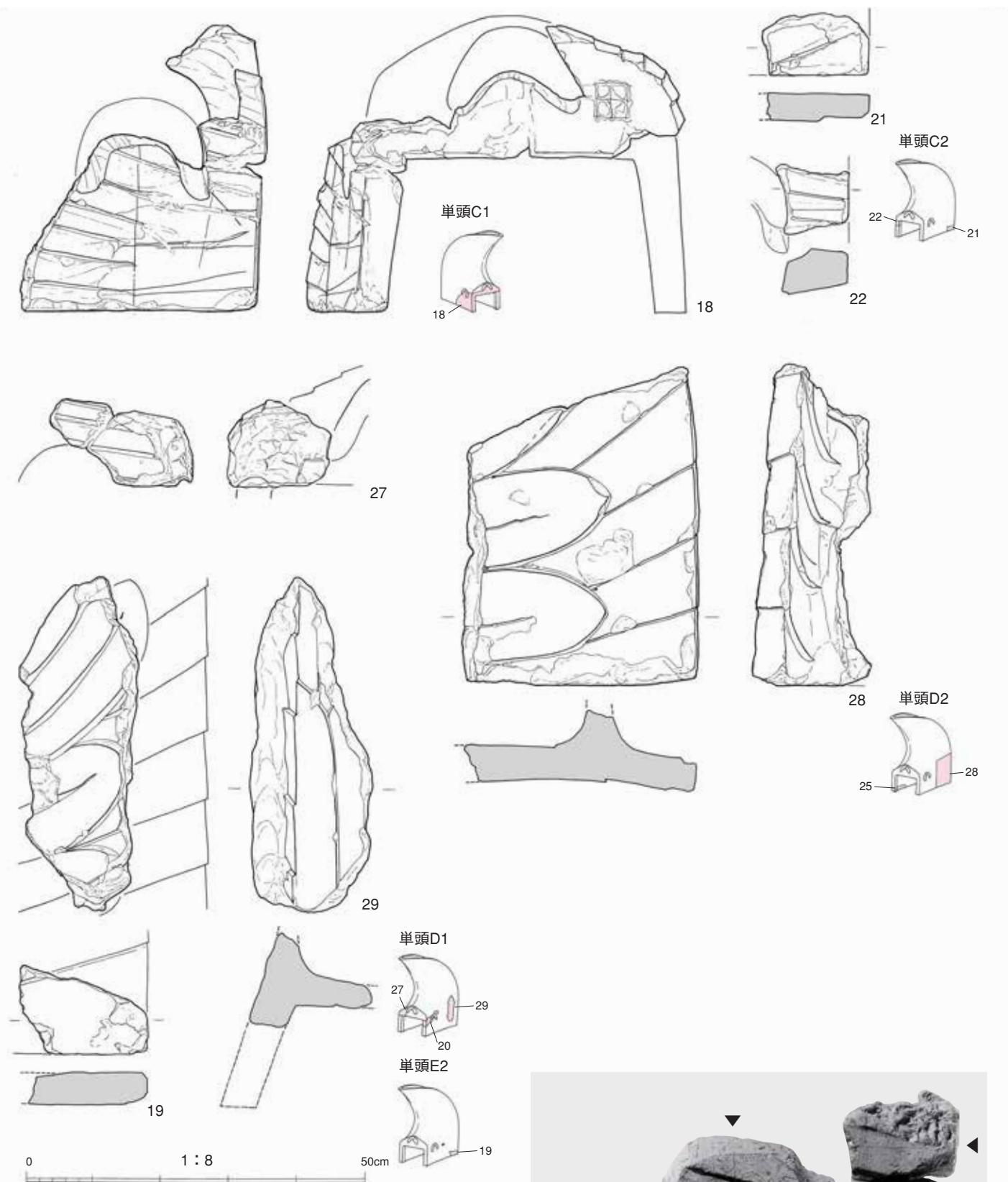
15 単頭B2



16 単頭A2

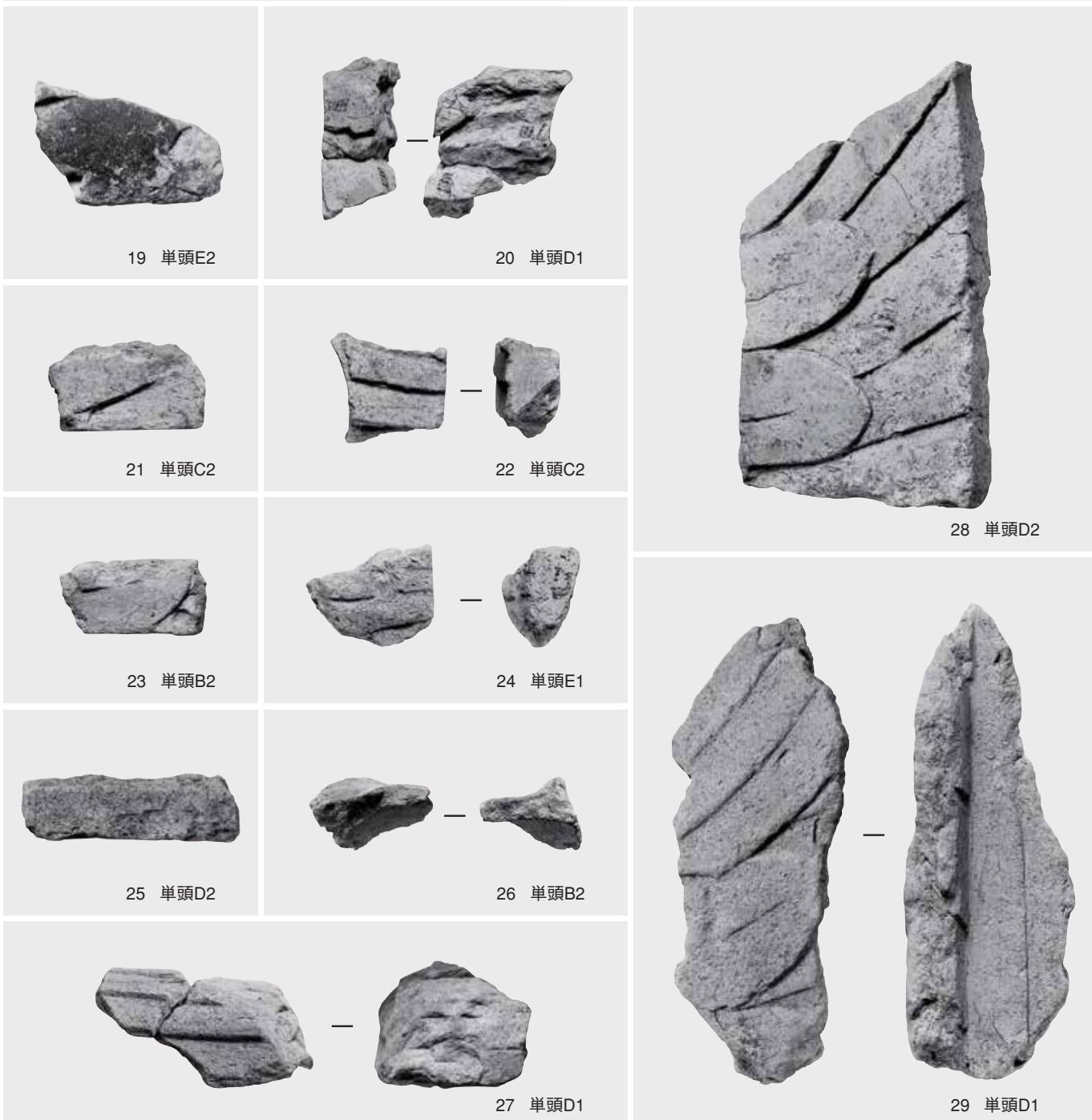


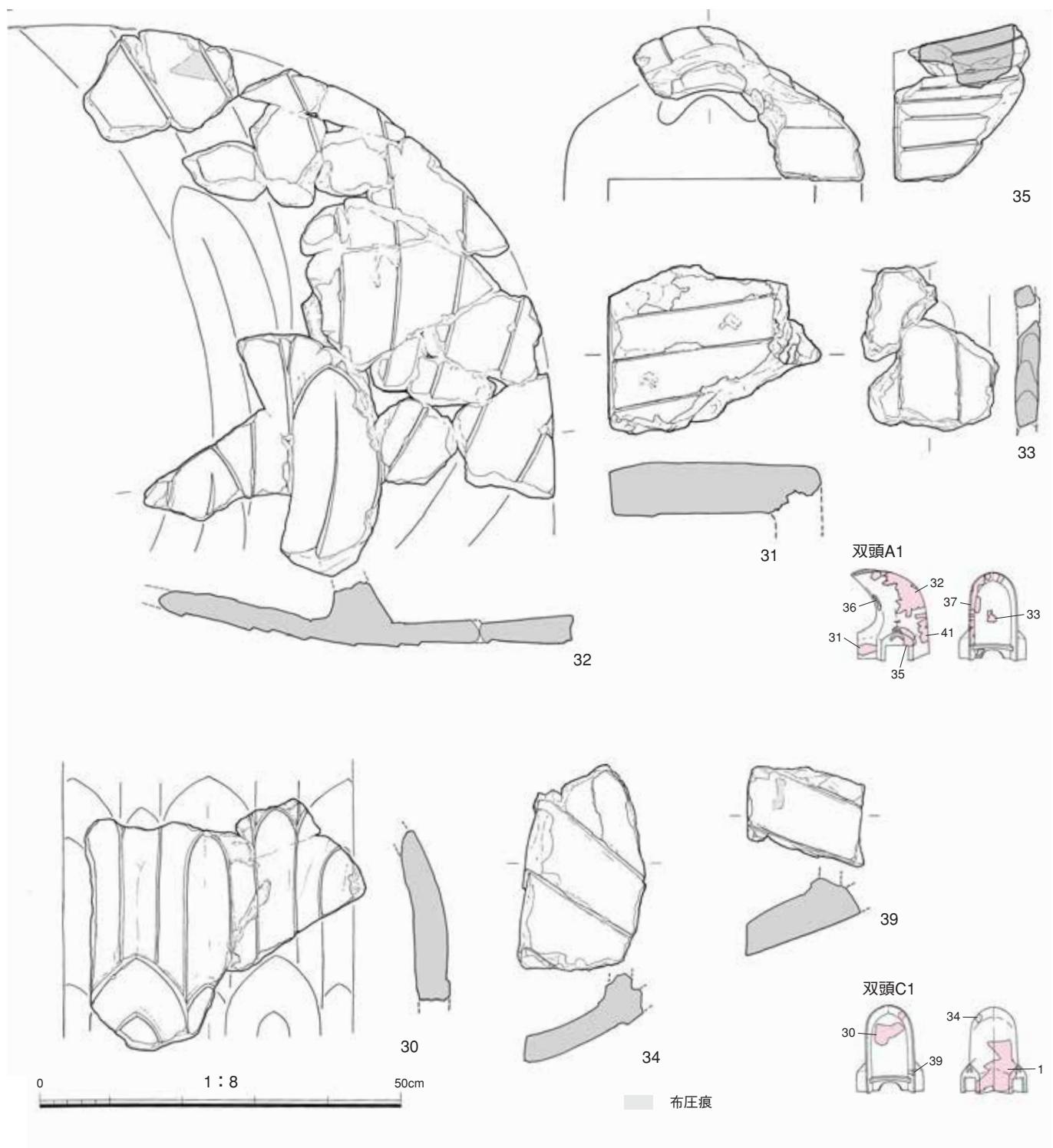
17 単頭B1



18 基準線▲と下書き線△ (単頭C1)

1 : 8 (18を除く)







30 双頭C1



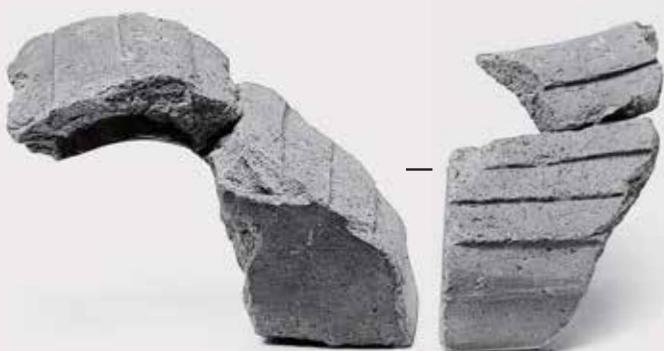
32 双頭A1



33 双頭A1



34 双頭C1



35 双頭A1



36 双頭A1



37 双頭A1



40 双頭B1